

平成30年度  
新庄市子ども・子育て支援事業計画策定  
に関するニーズ調査

結果報告書

(案)

平成31年3月

新 庄 市



# 目 次

## I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の項目	1
3. 調査の設計	1
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2

## II. 調査結果

### II-1 就学前児童

1. お住まいの地域について	3
(1) お住まいの地区【問1】	3
2. お子さんと家族の状況について	3
(1) お子さんの生年月（年齢）【問2】	3
(2) お子さんの人数、末子の年齢【問3】	4
(3) この調査票にご回答いただく方（宛名のお子さんからみた関係）【問4】	4
(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問5】	5
(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問6】	5
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	6
(1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に 日常的に関わっている方（施設）【問7】	6
(2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境【問8】	6
(3) 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人の状況【問9】	7
(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況【問9-1】	7
(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況【問9-2】	8
(6) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、 気軽に相談できる人や場所の状況【問10】	8
(7) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、 気軽に相談できる先について【問10-1】	9
(8) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からの必要なサポート【問11】	10
4. 保護者の就労状況について	11
(1) 母親の現在の就労状況〔父子家庭の場合は記入は不要〕【問12(1)】	11
(2) 母親の就労日数、就労時間について【問12(1)-1】	11
(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問12(1)-2】	12
(4) 夜勤（原則として午後10時から午前5時まで の間における労働）の有無【問12(1)-3】	12









Ⅲ. ニーズ量の推計	
Ⅲ－１. ニーズ量の推計	81
1. 家庭類型の分類	82
2. 児童人口の推計	83
3. ニーズ量の推計	84

# I 調査の概要

---



# I 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

子ども・子育て支援法第61条に規定する子ども・子育て支援事業計画（計画期間：平成32～36年度）を策定するための基礎資料として、各種保育サービス等のニーズを把握するため、ニーズ調査を実施する。

## 2. 調査の項目

### (1) 就学前児童

- ①お住まいの地域について
- ②お子さんと家族の状況について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- ⑥地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑦土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
- ⑧病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用される方のみ）
- ⑨不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- ⑩小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ⑪育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑫本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

### (2) 小学生児童

- ①お住まいの地域について
- ②お子さんと家族の状況について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤病気の際の対応について
- ⑥放課後の過ごし方について
- ⑦育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑧本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：①就学前児童：新庄市全域

- ②小学生児童：新庄市全域
- (2) 調査対象：①就学前児童の保護者 ②小学生児童の保護者
- (3) 標本数：①就学前児童：800名  
②小学生児童：800名
- (4) 抽出方法：無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (6) 調査期間：平成30年1月下旬～12月下旬

#### 4. 回収結果

- (1) 回答数（率）：①就学前児童：509件（63.6%）  
②小学生児童：514件（64.3%）
- (2) 有効数（率）：①就学前児童：509件（63.6%）  
②小学生児童：514件（64.3%）

#### 5. 報告書の見方

- (1) 図表の中の全体とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は回答者総数全体（該当質問においては該当者数）に占める質問の選択者数の比率として算出している。なお、図表では小数点第2位をそれぞれ四捨五入しているため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 1つの質問において2つ以上の回答を求めたものもあり、従ってその場合の百分比の合計は100%を超える。
- (4) 各層別の分析において、回答者総数が僅少なものについては誤差が大きくなるため、本文での分析からはずすなど、参考として傾向をみるにとどめている。
- (5) 図表で、「無回答」を一部省略して表しているために、合計が合致しない場合がある。
- (6) 図表等で、選択肢等の語句を一部簡略化して表している。

## II 調査結果

---

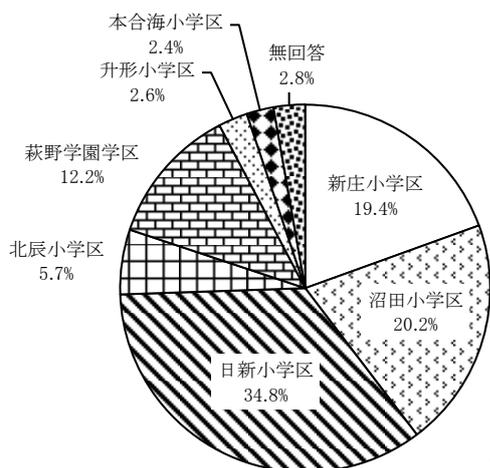


## Ⅱ－1 就学前児童

### 1. お住まいの地域について

#### (1) お住まいの地区【問1】

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。



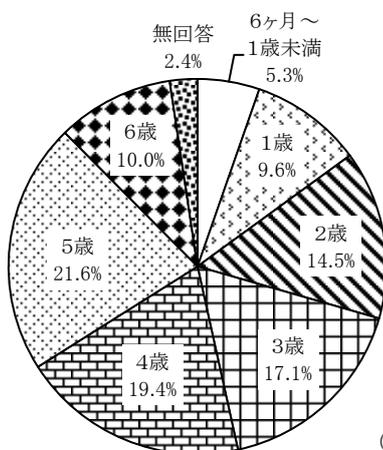
(調査数：509)

住まいの地区では、「日新小学区」(34.8%)が最も多く、次いで「沼田小学区」(20.2%)、「新庄小学区」(19.4%)となっている。

### 2. お子さんと家族の状況について

#### (1) お子さんの生年月(年齢)【問2】

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。



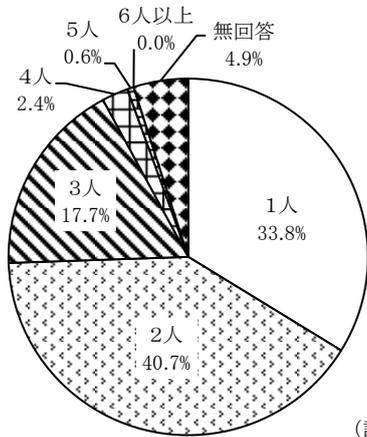
(調査数：509)

子どもの生年月から年齢をみると、「5歳」(21.6%)が最も多く、次いで「4歳」(19.4%)、「3歳」(17.1%)となっている。

※年齢算出基準は、抽出時点 (H30.10.1) とする。

(2) お子さんの人数、末子の年齢【問3】

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。



(調査数：509)

子どもの人数では、「2人」(40.7%)が最も多く、次いで「1人」(33.8%)、「3人」(17.7%)となっている。

また、子どもが2人以上いる方の末子の年齢では、「0歳」(16.7%)が最も多く、次いで「2歳」(14.7%)、「3歳」(12.8%)となっている。

【末子の年齢】[2人以上のお子さんがいらっしゃる場合]

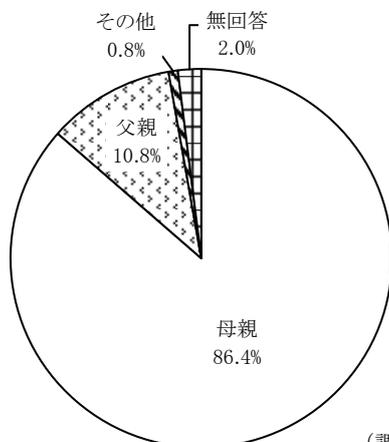
(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	無回答	合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳		
構成比	16.7%	12.5%	14.7%	12.8%	12.2%	10.3%	6.1%	14.7%	100.0%

(調査数：312)

(3) この調査票にご回答いただく方(宛名のお子さんからみた関係)【問4】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

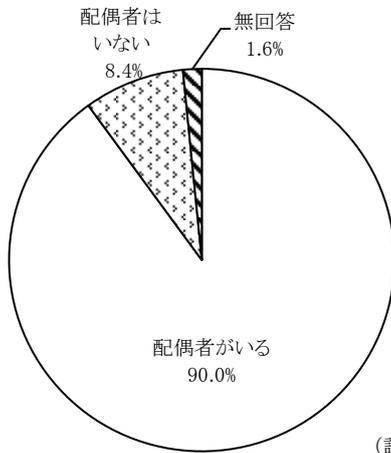


(調査数：509)

調査の回答者では、「母親」(86.4%)が最も多く、次いで「父親」(10.8%)となっている。

(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問5】

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

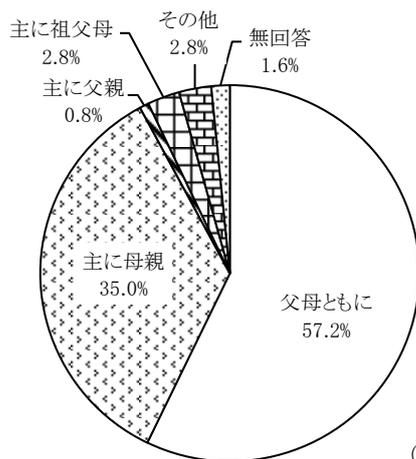


(調査数：509)

配偶者の有無では、「配偶者がいる」が90.0%、「配偶者がいない」が8.4%となっている。

(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問6】

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



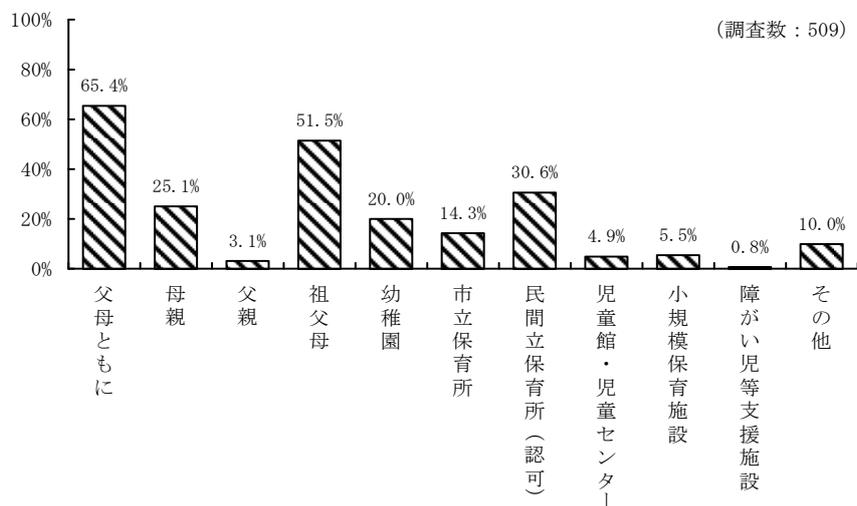
(調査数：509)

子育てを主に行っている方では、「父母ともに」(57.2%)が最も多く、次いで「主に母親」(35.0%)、「主に祖母」(2.8%)となっている。

### 3. 子どもの育ちをめぐる環境について

#### (1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）【問7】

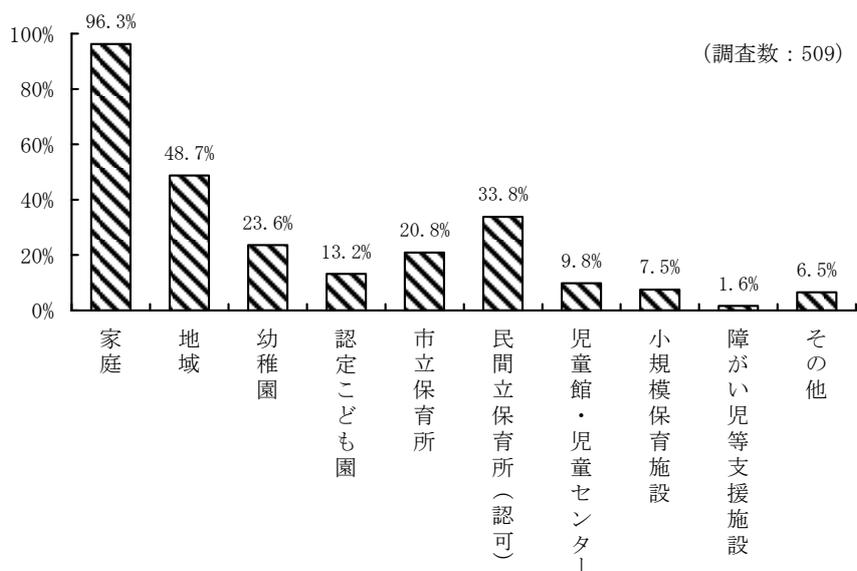
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係（人や施設）で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）では、「父母ともに」（65.4%）が最も多く、次いで「祖父母」（51.5%）、「民間立保育所（認可）」（30.6%）となっている。

#### (2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境【問8】

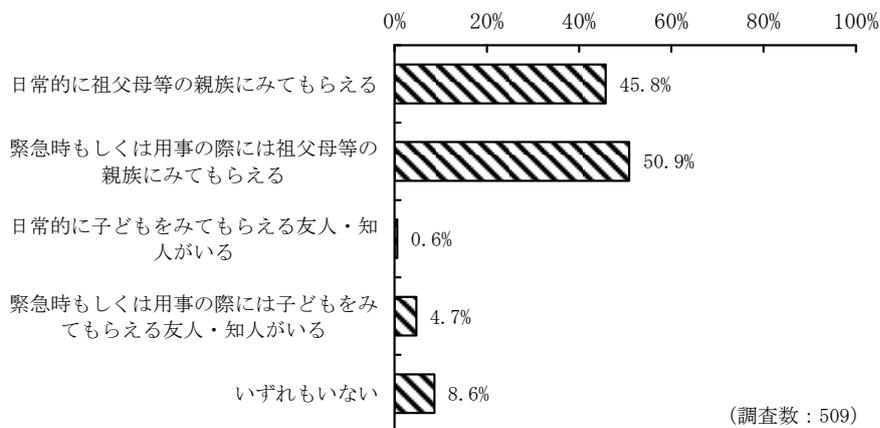
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境では、「家庭」（96.3%）が最も多く、次いで「地域」（48.7%）、「民間立保育所（認可）」（33.8%）となっている。

(3) 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人の状況【問9】

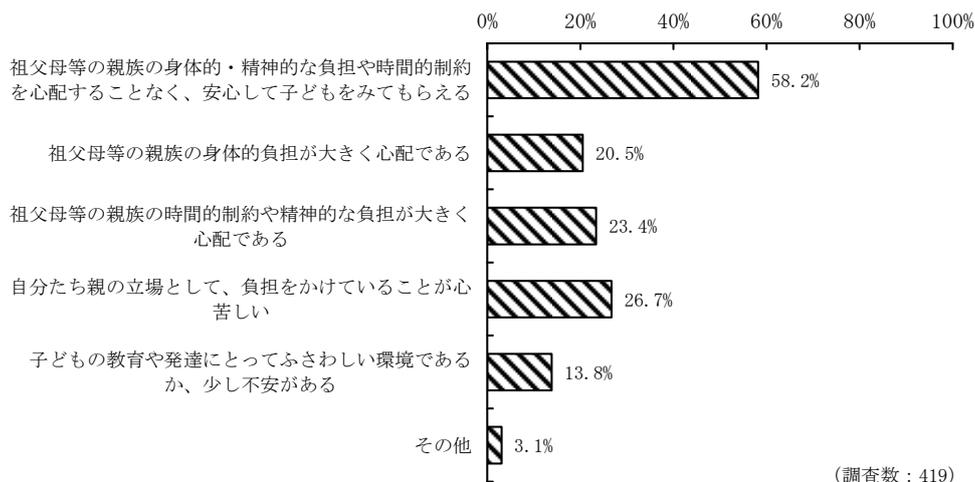
問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.9%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(45.8%)となっており、子どもの預かりなど、必要に応じて保護者の養育力を補完してもらえる環境下にあることがうかがえる。

(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況【問9-1】

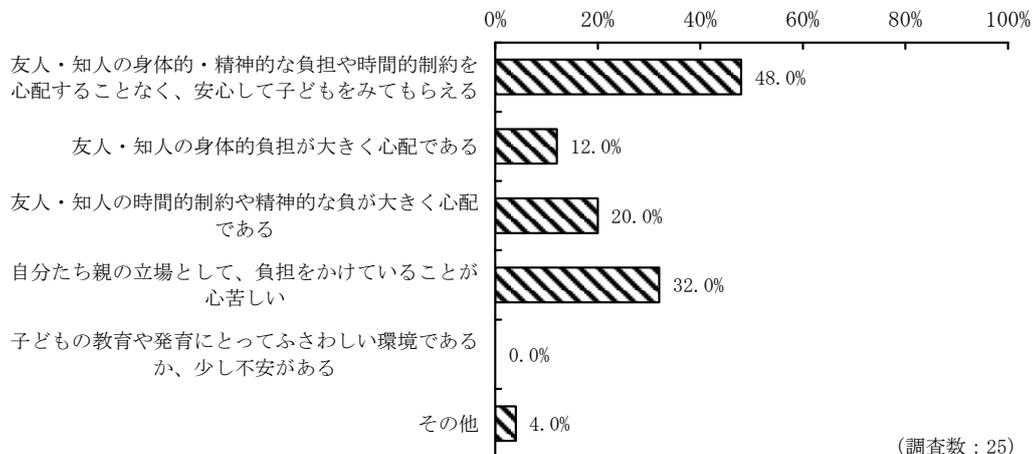
問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況では、58.2%が「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答しているものの、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(26.7%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(23.4%)と心配や心苦しいという回答もある。

(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況【問9-2】

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

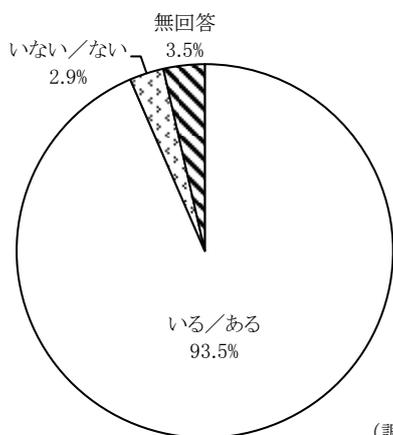


友人・知人に子どもをみてもらっている状況では、48.0%が「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答しているものの、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(32.0%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(20.0%)と心配や心苦しいという回答もある。

(6) 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、

気軽に相談できる人や場所の状況【問10】

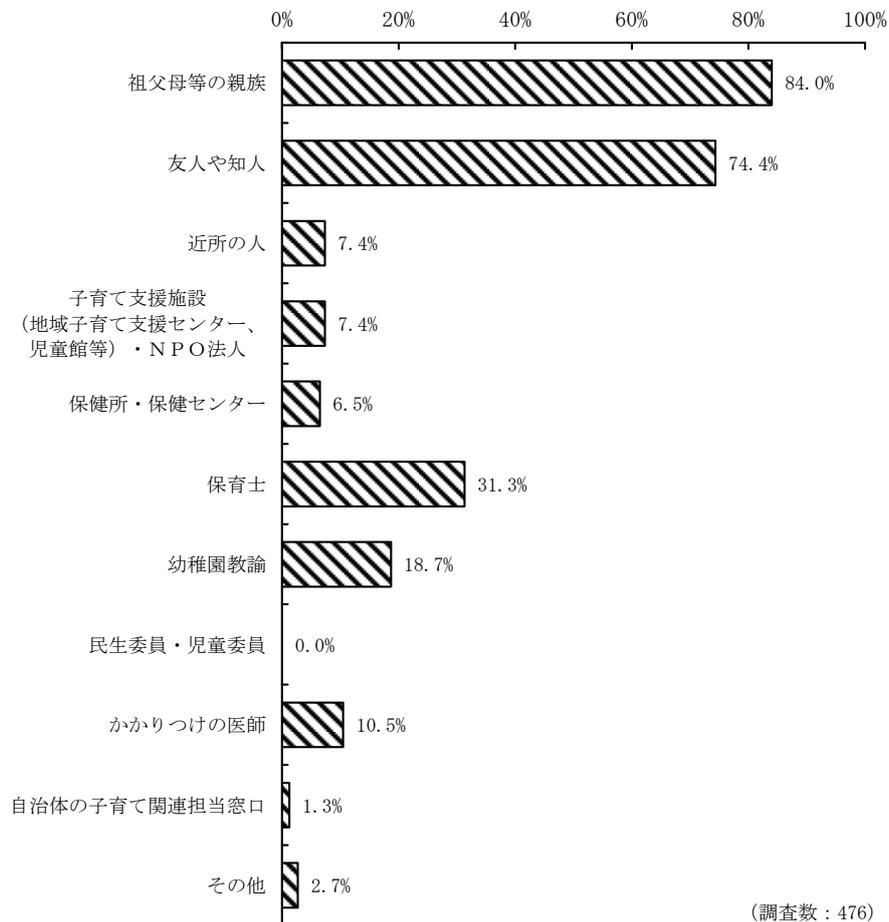
問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の状況では、93.5%が「いる/ある」と回答している。

(7) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先について【問 10-1】

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先では、「祖父母等の親族」が84.0%と最も多く、次いで「友人や知人」（74.4%）、「保育士」（31.3%）となっている。

(8) 子育て（教育を含む）をする上で必要なサポート【問11】

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

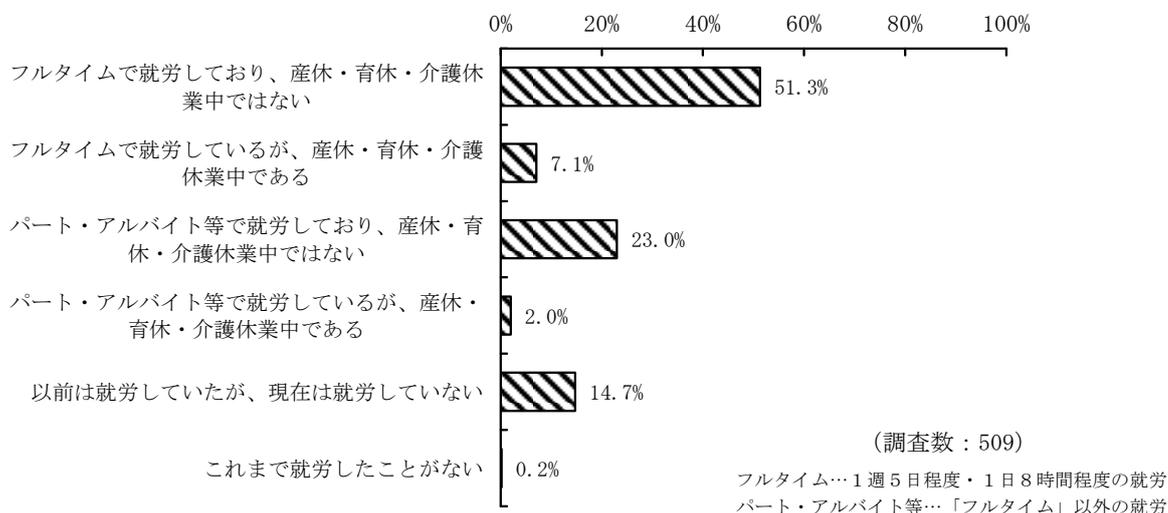
子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）へ望むサポートをたずねたところ、160件の意見が寄せられ、「保育サービス」に関する記述が17.5%と最も多くなっている。

分 類	件 数	構成比
保育サービス	28	17.5%
保育サービス（病時）	18	11.3%
サポート	19	11.9%
相談	19	11.9%
情報発信の改善	18	11.3%
集会	0	0.0%
補助金	13	8.1%
制度改善	8	5.0%
遊び場	10	6.3%
医療関係	4	2.5%
見守り	3	1.9%
市役所	4	2.5%
保育所への要望	1	0.6%
満足	4	2.5%
訪問	9	5.6%
その他	2	1.3%
合 計	160	

#### 4. 保護者の就労状況について

##### (1) 母親の現在の就労状況【父子家庭の場合は記入は不要】【問 12】

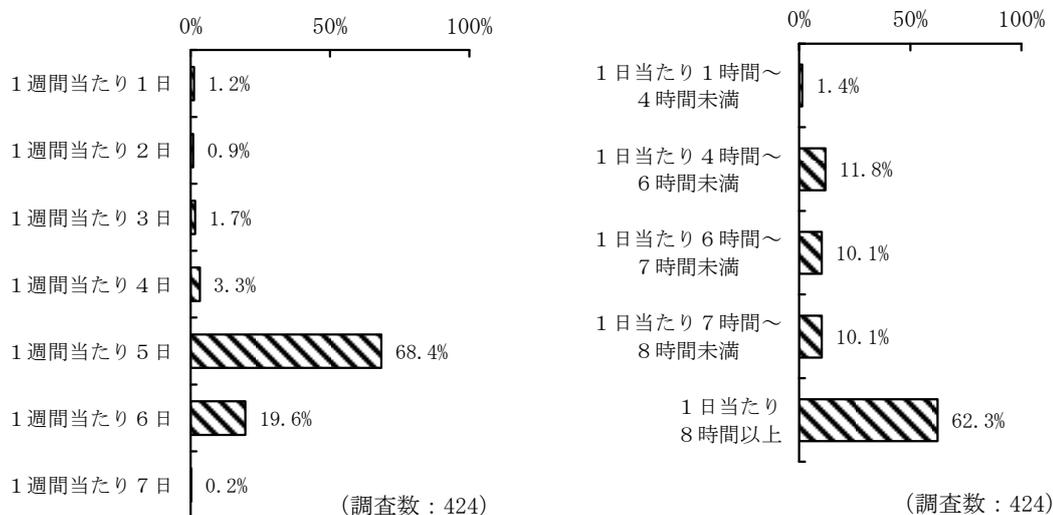
問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
 (1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が51.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等〔（フルタイム）以外の就労〕で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（23.0%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（14.7%）となっている。

##### (2) 母親の就労日数、就労時間について【問 12(1)-1】

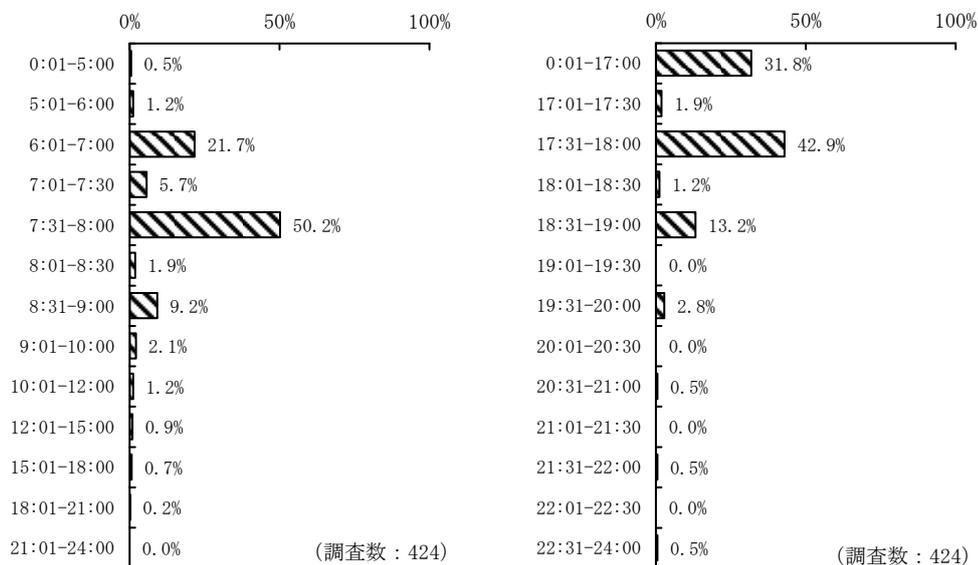
問 12(1)-1 (1) で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している母親の1週間当たりの就労日数では、「5日」が68.4%と最も多く、1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が62.3%と最も多くなっている。

(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 12(1)-2】

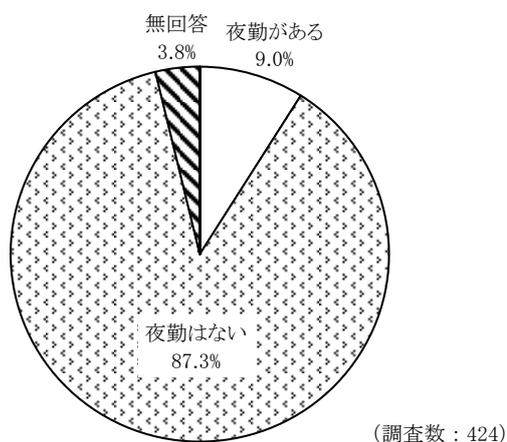
問 12(1)-2 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間では、「7時31分～8時」が50.2%と最も多く、帰宅時間では、「17時31分～18時」が42.9%と最も多くなっている。

(4) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 12(1)-3】

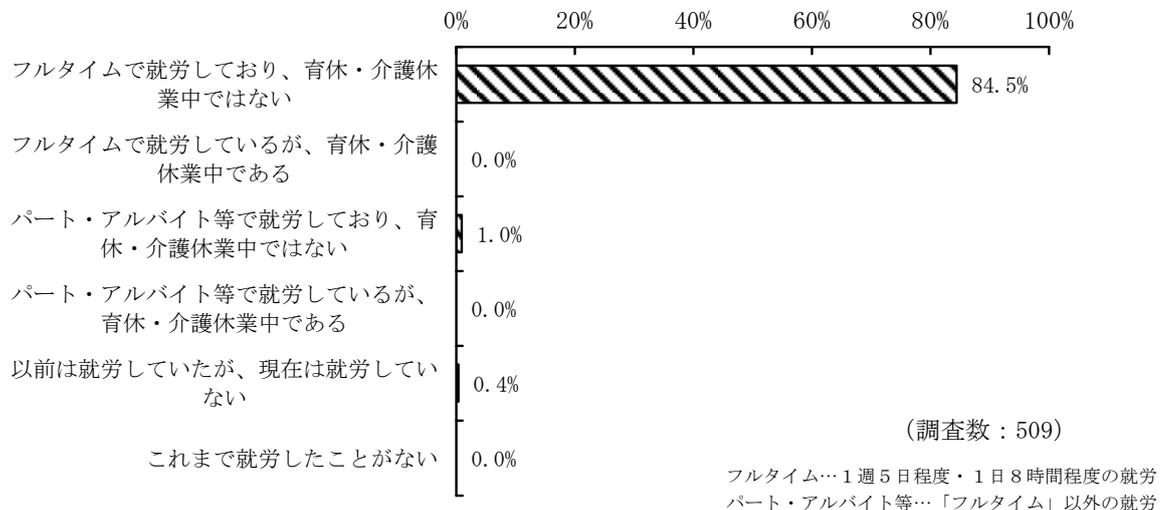
問 12(1)-3 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が9.0%、「夜勤はない」が87.3%となっている。

(5) 父親の現在の就労状況 [母子家庭の場合は記入は不要] 【問 12(2)】

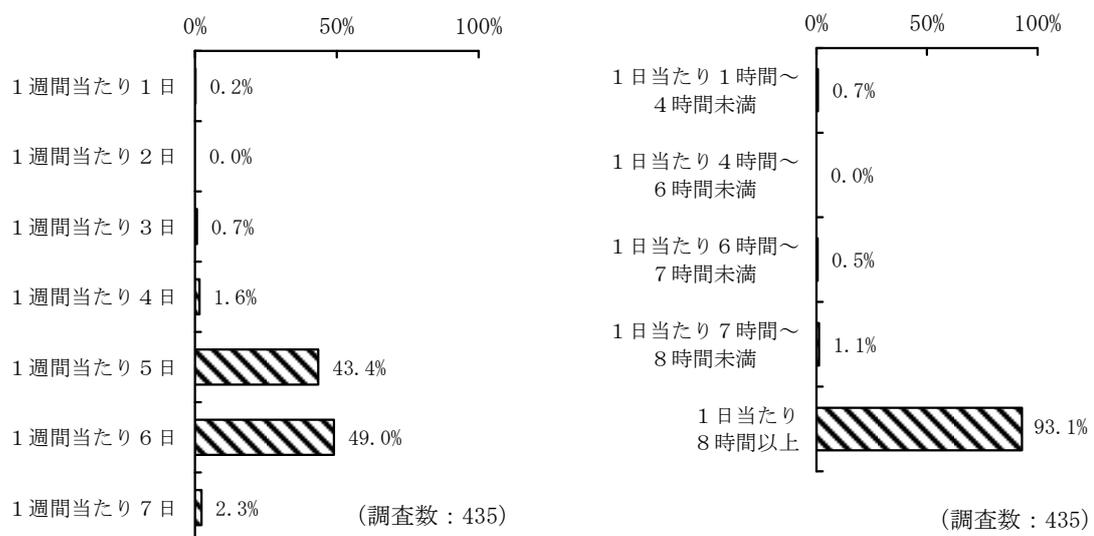
問 12(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



父親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が84.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等〔(フルタイム) 以外の就労〕で就労しており、育休・介護休業中ではない」（1.0%）となっている。

(6) 父親の就労日数、就労時間について 【問 12(2)-1】

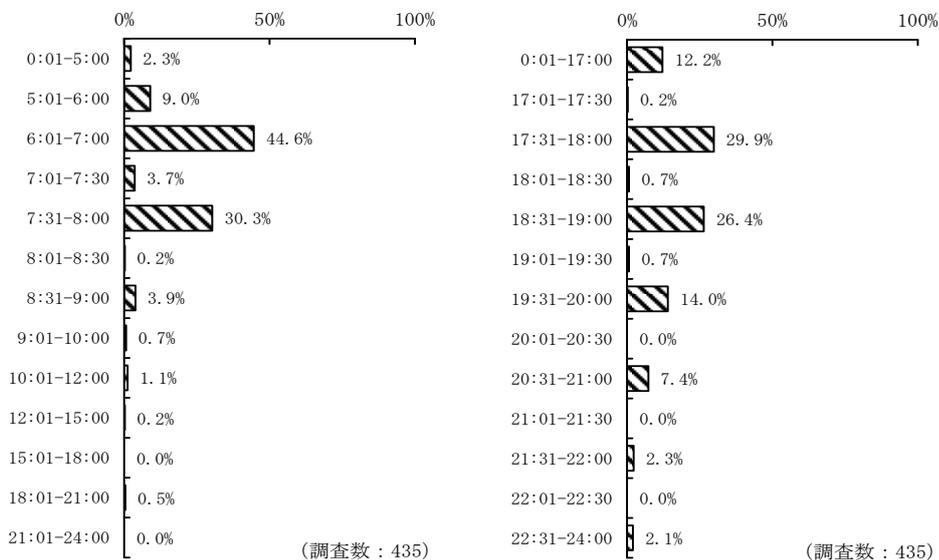
問 12(2)-1 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している父親の1週間当たりの就労日数では、「6日」が49.0%と最も多く、1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が93.1%と最も多くなっている。

(7) 父親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 12(2)-2】

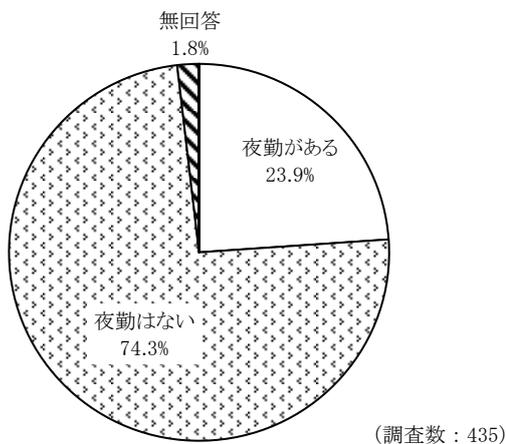
問 12(2)-2 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間では、「6時1分～7時」が44.6%と最も多く、帰宅時間では、「17時31分～18時」が29.9%と最も多くなっている。

(8) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 12(2)-3】

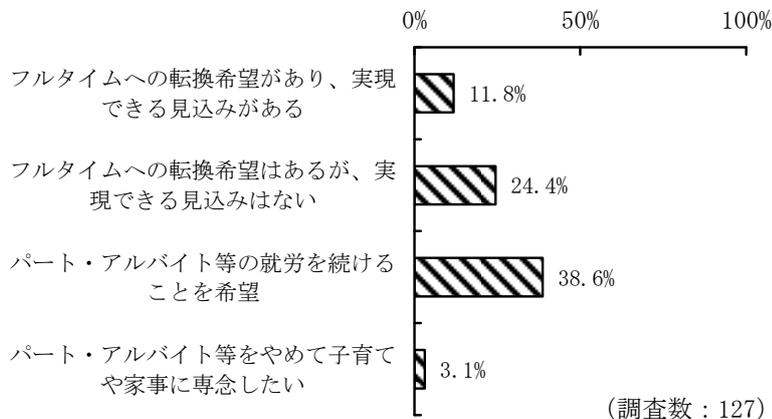
問 12(2)-3 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が23.9%、「夜勤はない」が74.3%となっている。

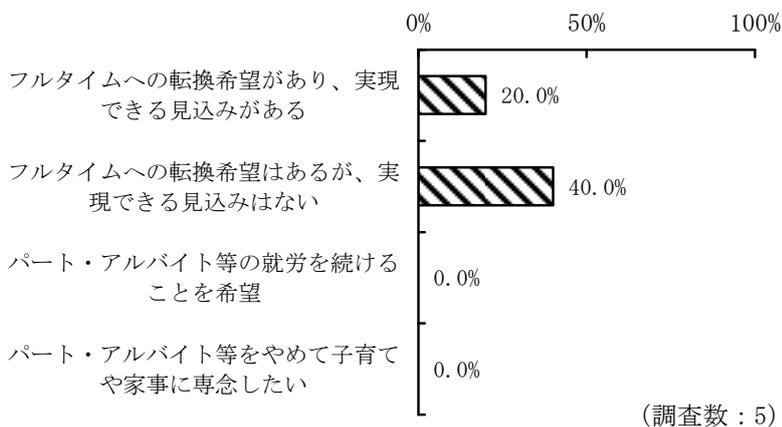
(9) 母親のフルタイムへの転換希望【問 13(1)】

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。  
 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等〔(フルタイム) 以外の就労〕の就労を続けることを希望」が 38.6%と最も多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(24.4%)となっている。

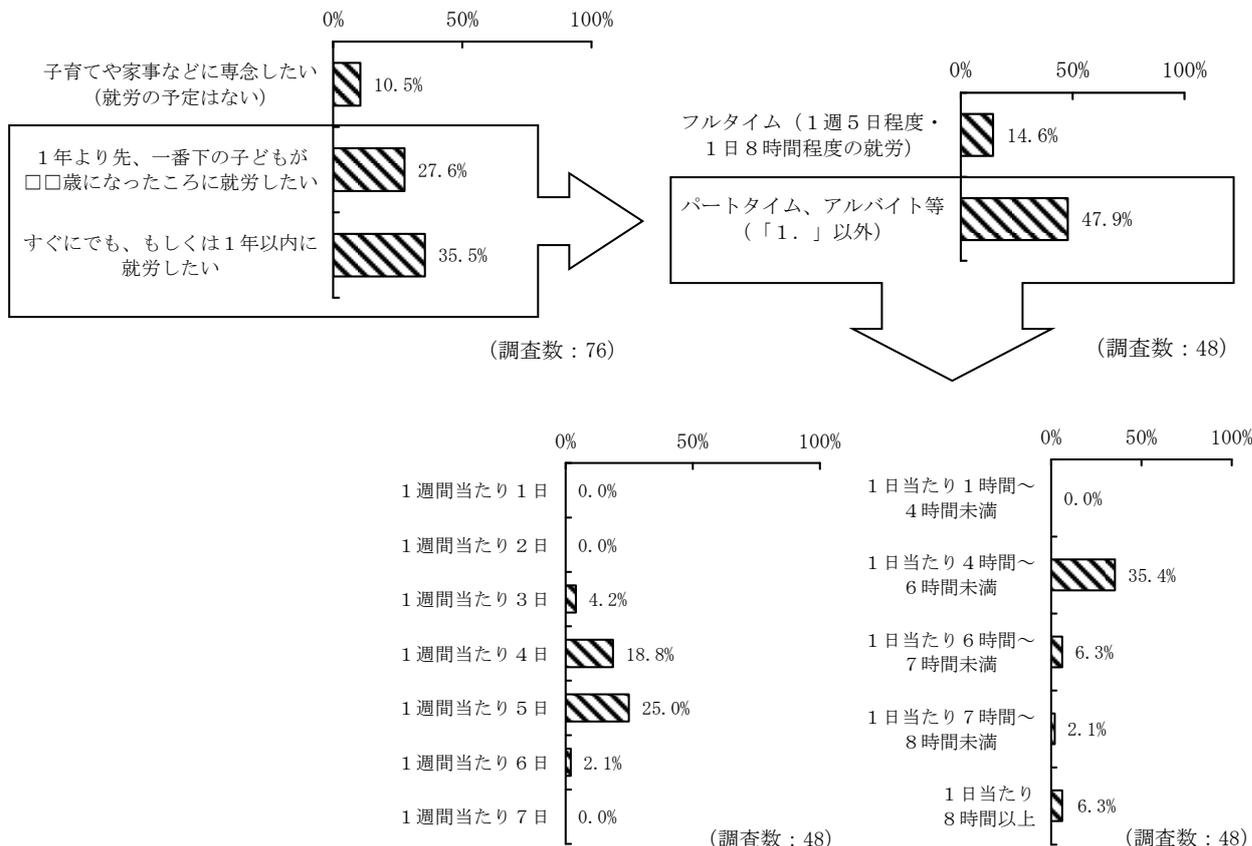
(10) 父親のフルタイムへの転換希望【問 13(2)】



パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が4割となっている。

(11) 母親の就労希望【問 14(1)】

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください



【1年より先、一番下の子どもが何歳になったときに就労を希望するか】 [問14(1)で2を選択]

(単一回答)

	1	2	3	4	5	無回答	合計
	1歳～2歳	3歳～5歳	6歳～8歳	9歳～11歳	12歳以上		
構成比	23.8%	42.9%	23.8%	0.0%	0.0%	9.5%	100.0%

(調査数: 21)

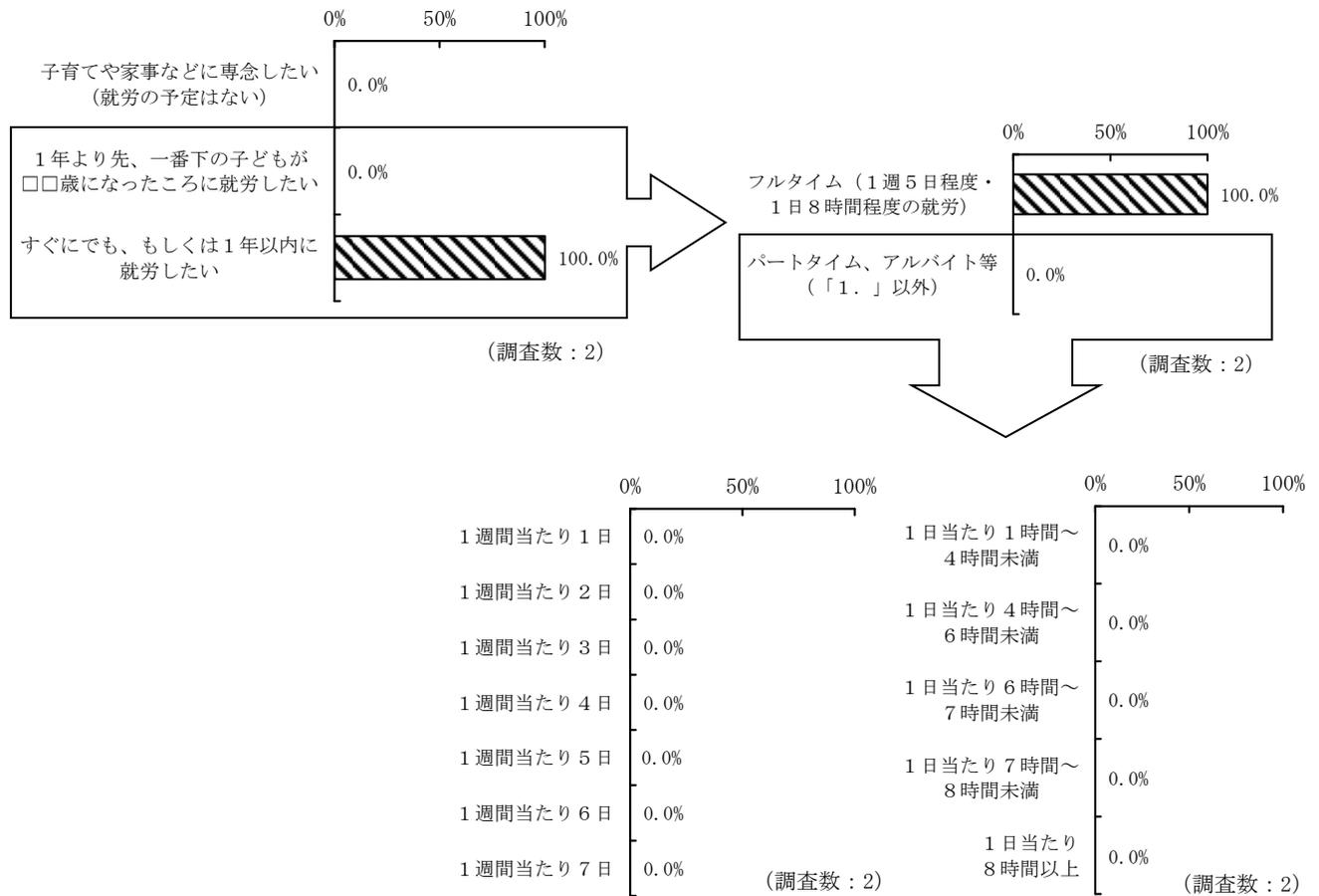
現在就労していない母親の就労希望では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が35.5%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい」が27.6% (「3歳～5歳」が最も多い) と約6割の就労希望がある。

希望する就労形態では、「パート・アルバイト等 [(フルタイム) 以外の就労]」(47.9%)、「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」(14.6%) となっている。

パート・アルバイト等による就労希望者の1週間当たりの就労希望日数は、「5日」が25.0%と最も多くなっている。

また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」が35.4%と最も多くなっている。

(12) 父親の就労希望【問 14(2)】



現在就労していない父親の就労希望では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が100.0%となっている。

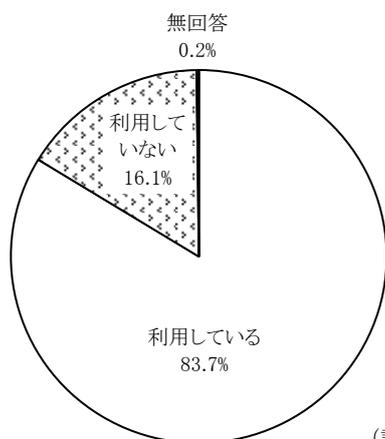
希望する就労形態では、「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が100.0%となっている。

## 5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

### (1) 現在の教育・保育事業の利用状況【問 15】

問 15 宛名のおさんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

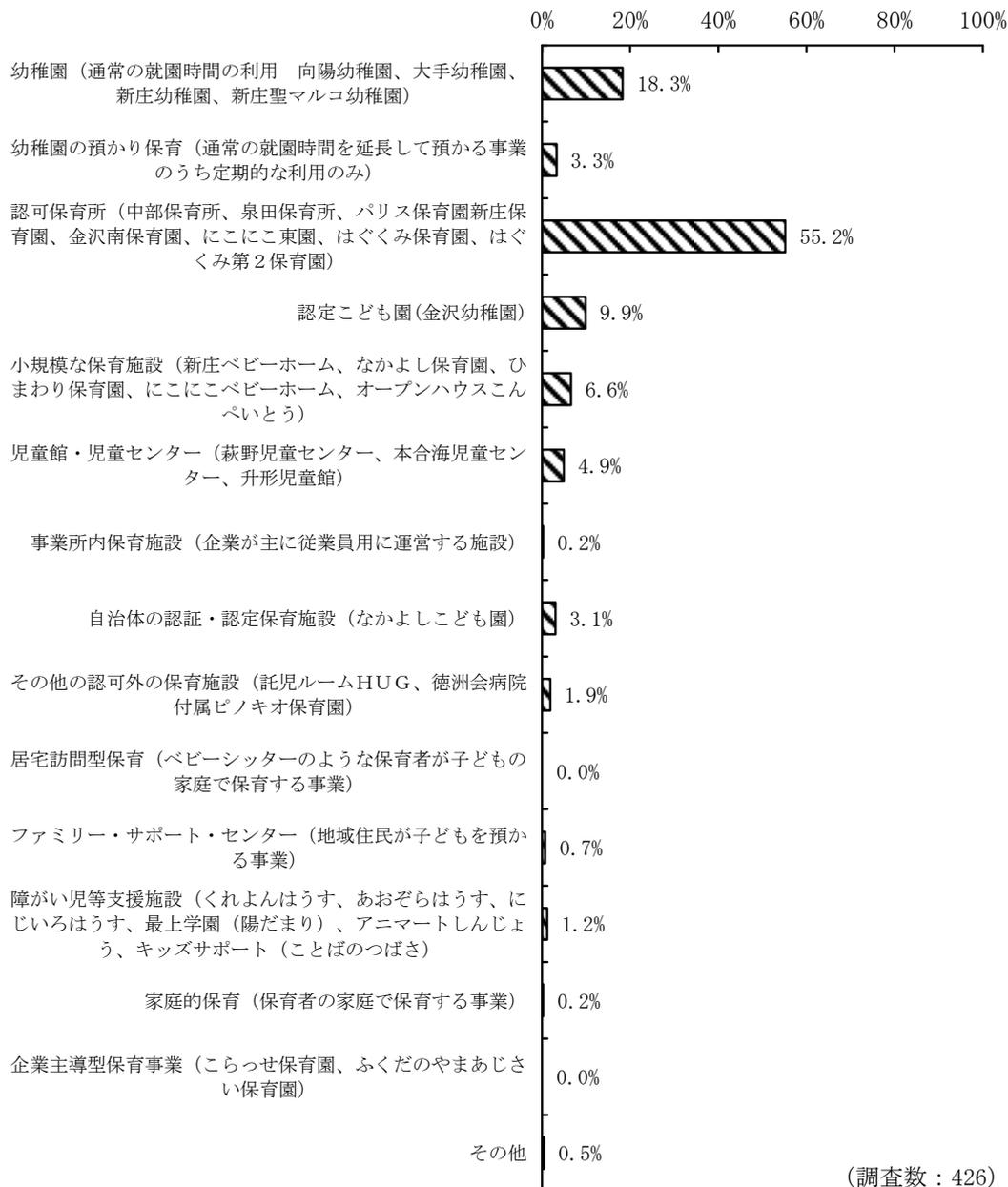


(調査数：509)

現在の教育・保育事業の利用状況では、「利用している」が 83.7%、「利用していない」が 16.1%となっている。

(2) 現在、利用している教育・保育事業【問 15-1】

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。  
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

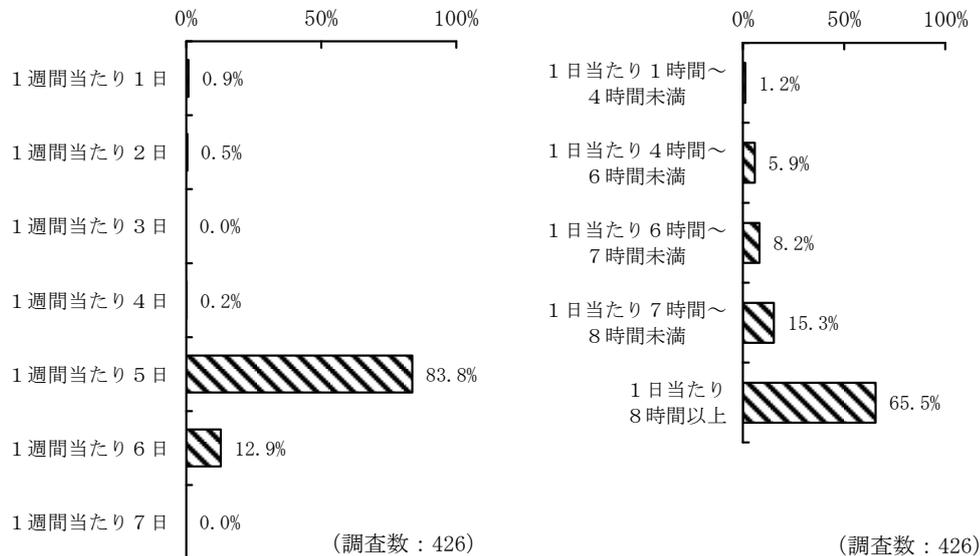


注：上記項目については、本市で行っていない事業も掲載しております。

現在利用している教育・保育事業では、「認可保育所 (中部保育所、泉田保育所、パリス保育園新庄保育園、金沢南保育園、にこにこ東園、はぐくみ保育園、はぐくみ第2保育園)」が55.2%と最も多く、次いで「幼稚園 (通常の就園時間の利用 向陽幼稚園、大手幼稚園、新庄幼稚園、新庄聖マルコ幼稚園)」(18.3%)となっている。

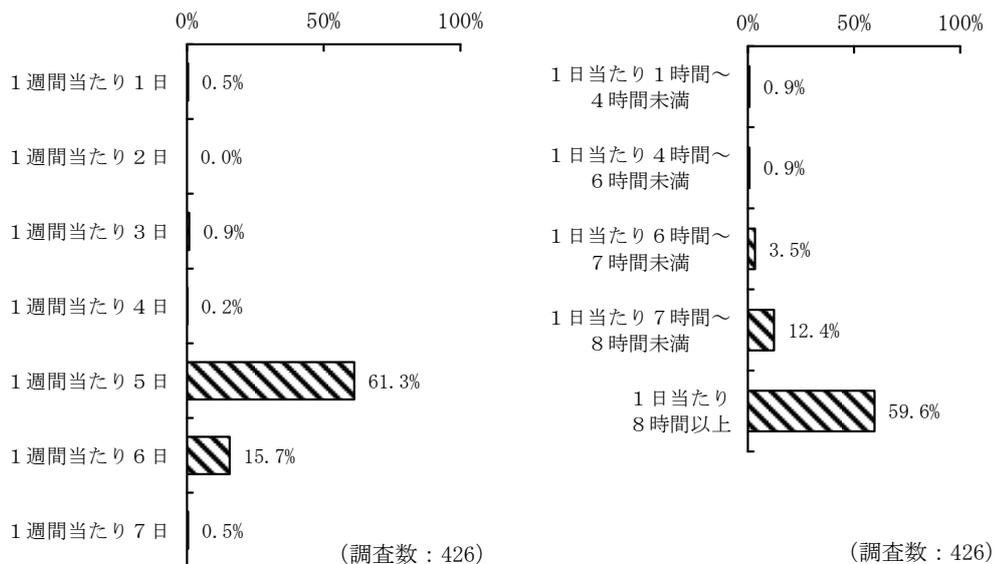
(3) 現在、教育・保育事業を利用している日数・時間【問 15-2(1)】

問 15-2 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください



現在利用している教育・保育事業の1週当たりの利用日数では、「5日」が83.8%と最も多く、1日当たりの利用時間では、「8時間以上」が65.5%と最も多くなっている。

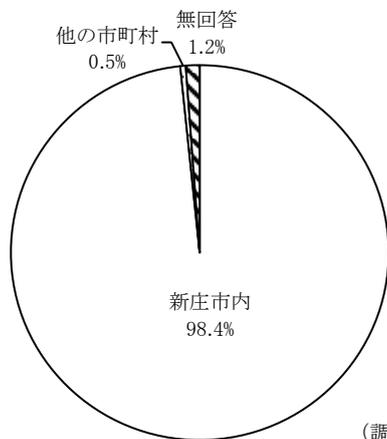
(4) 希望する教育・保育事業の利用日数・時間【問 15-2(2)】



希望する教育・保育事業の1週当たりの利用日数では、「5日」が61.3%と最も多く、1日当たりの利用時間では、「8時間以上」が59.6%と最も多くなっている。

(5) 現在、利用している教育・保育事業の場所【問 15-3】

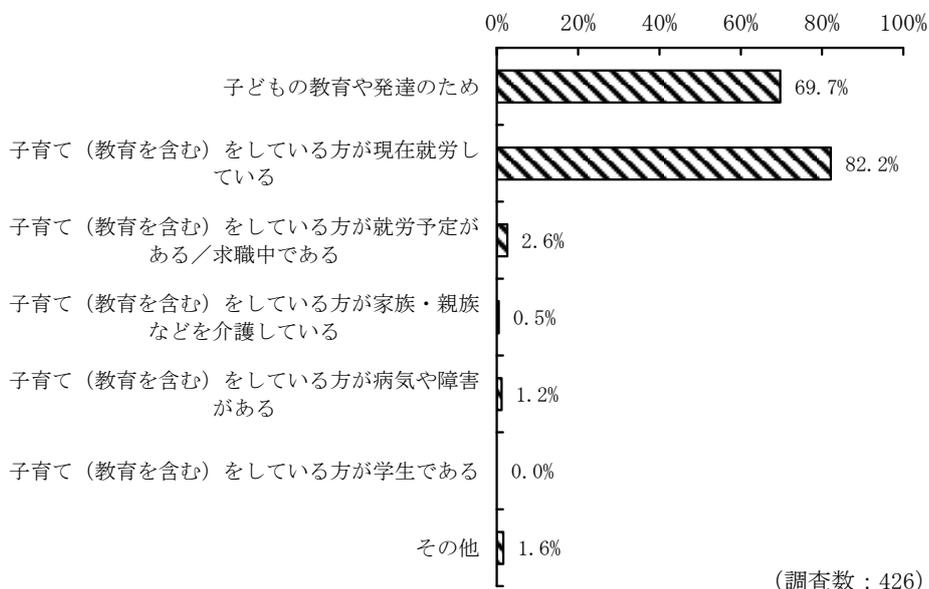
問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。  
当てはまる番号1つに○をつけてください。



現在利用している教育・保育事業の場所では、「新庄市内」が98.4%となっており、ほとんどの方が新庄市内で利用している。

(6) 教育・保育事業を利用している理由【問 15-4】

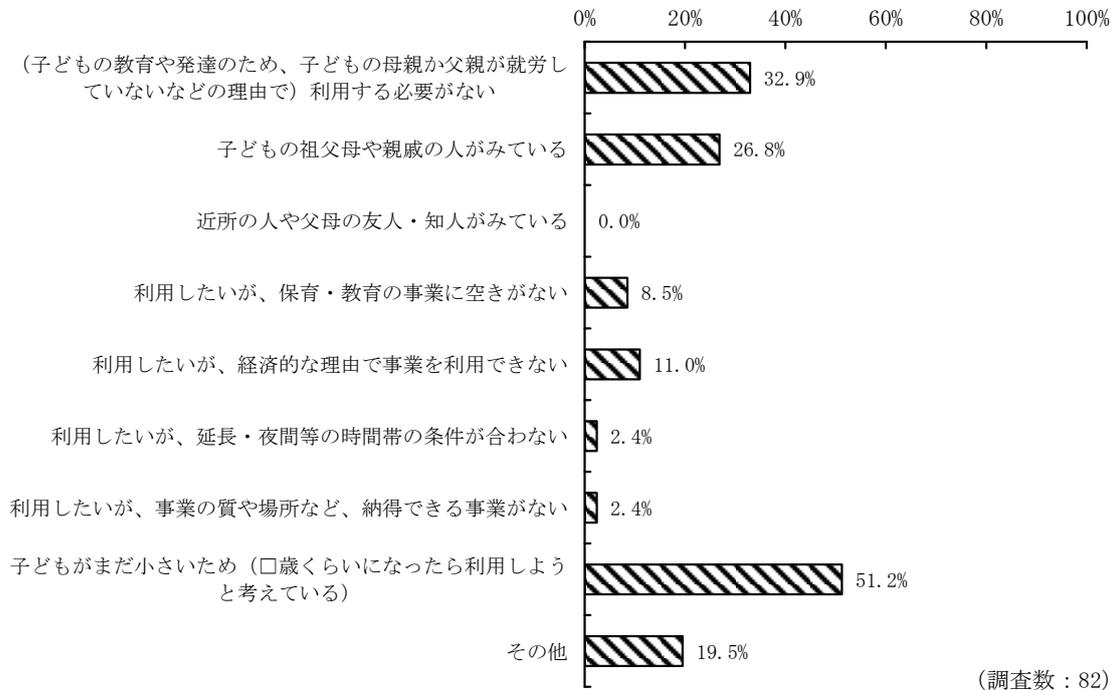
問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



教育・保育事業を利用している理由では、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が82.2%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（69.7%）となっている。

(7) 教育・保育事業を利用していない理由【問 15-5】

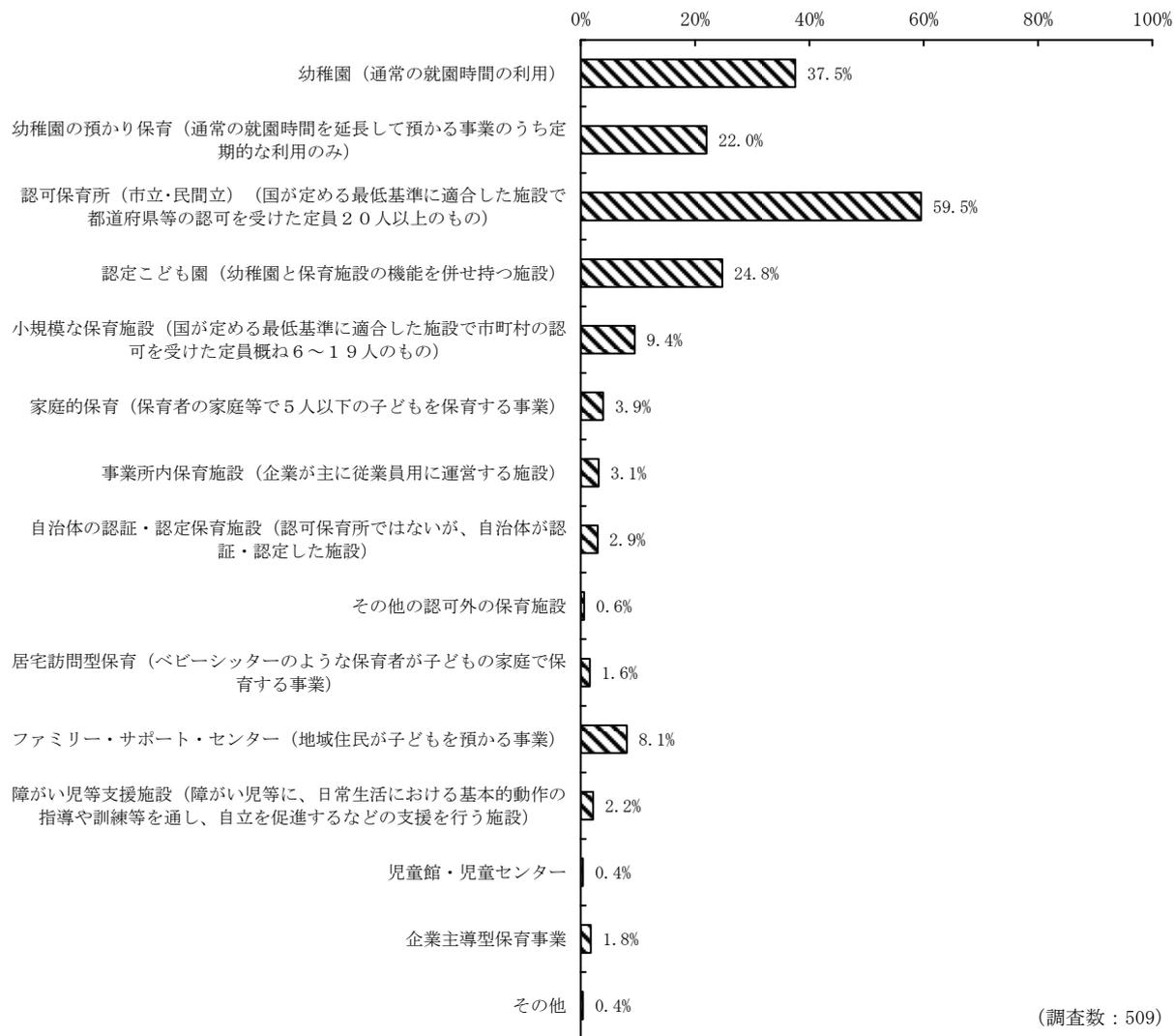
問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。



教育・保育事業を利用していない理由では、「子どもがまだ小さいため (□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 51.2% と最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」(32.9%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(26.8%) となっている。

(8) 利用したい教育・保育事業【問 16】

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

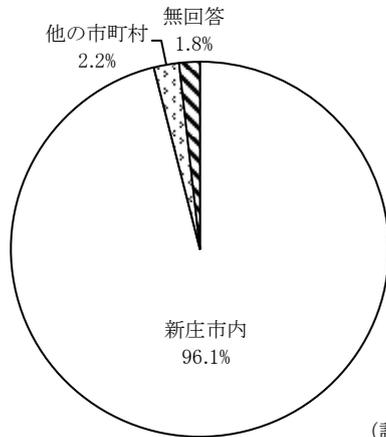


注：上記項目については、本市で行っていない事業も掲載しております。

利用したい教育・保育事業では、「認可保育所 (市立・民間立) [国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの]」が59.5%と最も多く、次いで「幼稚園 (通常の就園時間の利用)」(37.5%)、「認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」(24.8%)、「幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」(22.0%)となっている。

(9) 教育・保育事業を利用したい場所【問 16-1】

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



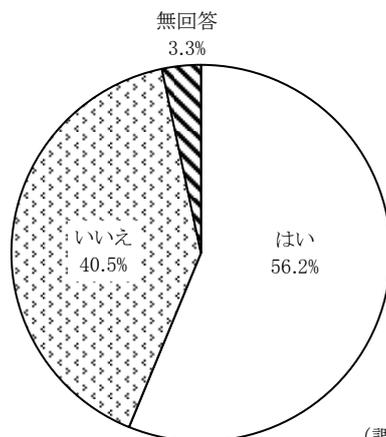
(調査数 : 509)

教育・保育事業を利用したい場所では、「新庄市内」が 96.1%となっており、ほとんどの方が新庄市内で利用したいと考えている。

(10) 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）

の利用を強く希望【問 16-2】

問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～15 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。



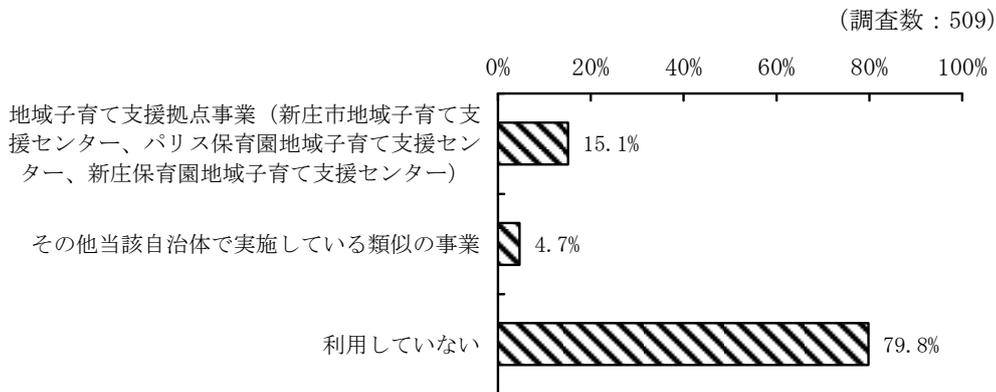
(調査数 : 121)

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望では、「はい」が 56.2%、「いいえ」が 40.5%となっている。

## 6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

### (1) 現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況【問17】

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（新庄市地域子育て支援センターなどの、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業です）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



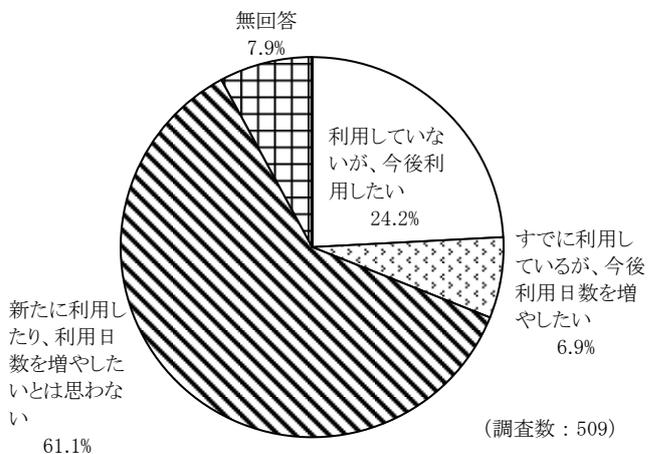
※地域子育て支援拠点事業…新庄市地域子育て支援センター、パリス保育園地域子育て支援センター、新庄保育園地域子育て支援センター

現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況では、「地域子育て支援拠点事業（新庄市地域子育て支援センター、パリス保育園地域子育て支援センター、新庄保育園地域子育て支援センター）」が15.1%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が4.7%となっている。

一方、「利用していない」は79.8%となっている。

### (2) 今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望について【問18】

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



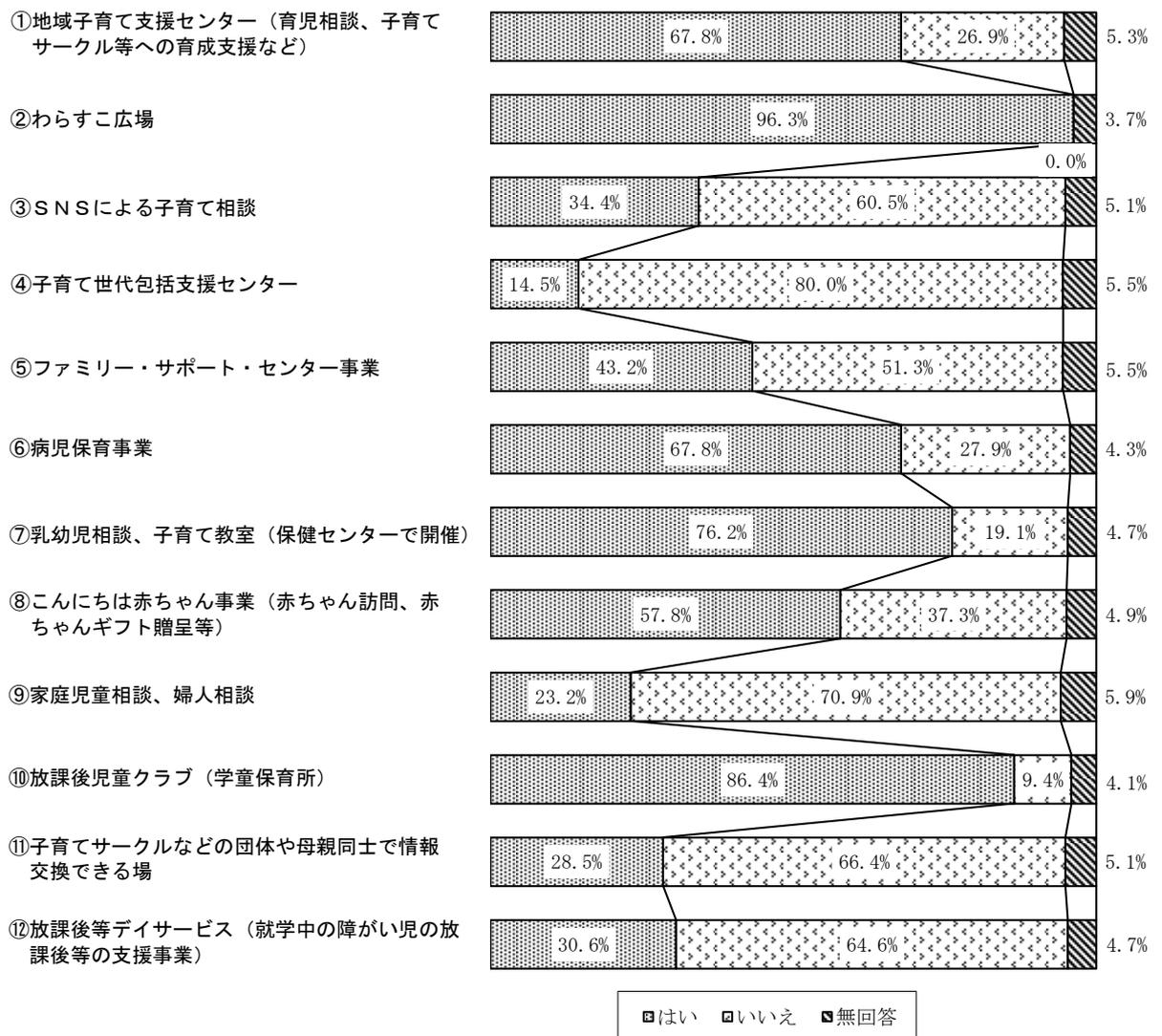
今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望では、「利用していないが、今後利用したい」（24.2%）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（6.9%）と利用希望は3割を超える。

(3) 本市で行っている事業の認知度、利用の有無、今後の利用希望について【問 19】

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑯の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A知っている】

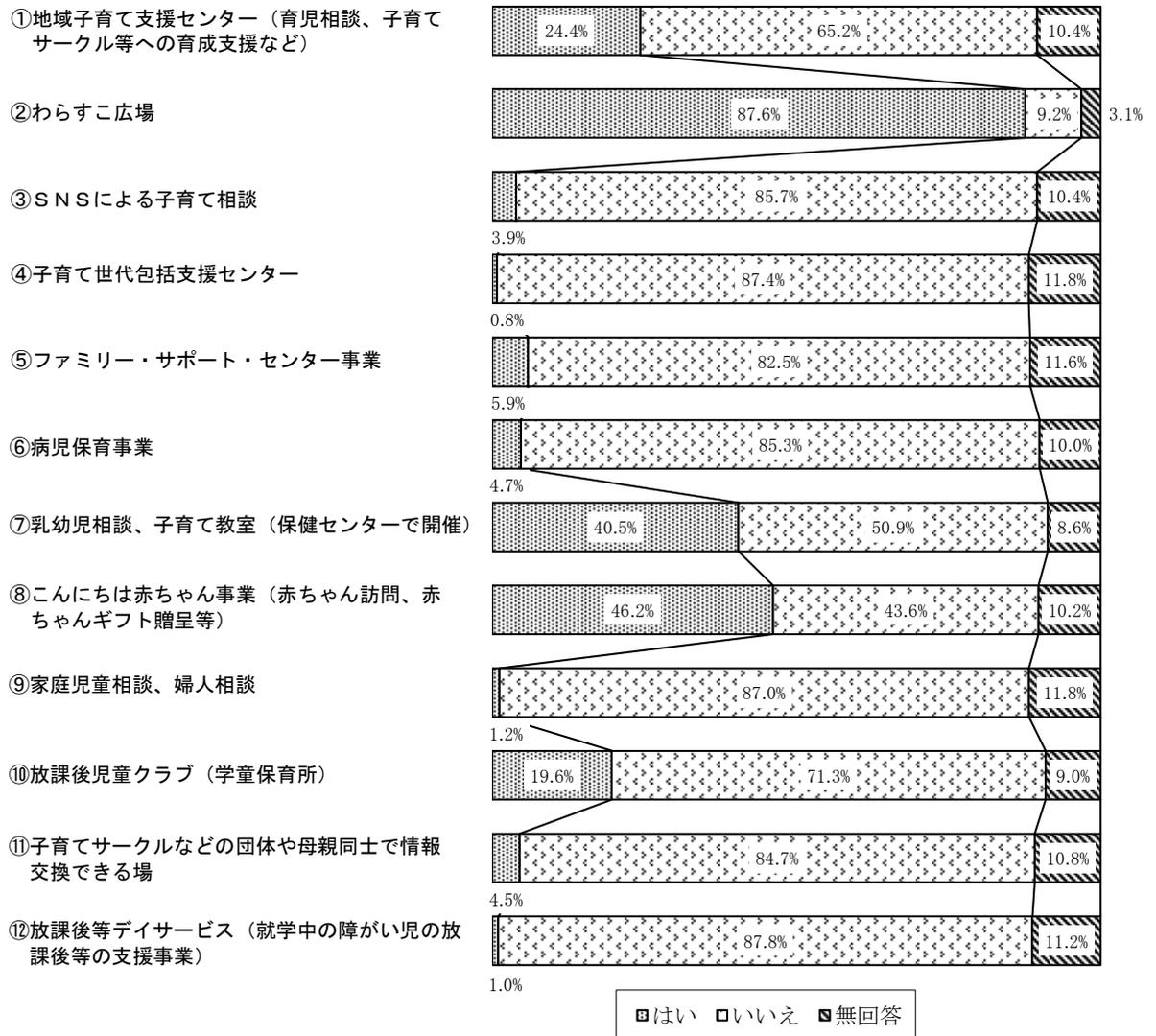
(調査数：509)



事業の認知度は、「わらすこ広場」が96.3%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ (学童保育所)」(86.4%)、「乳幼児相談、子育て教室 (保健センターで開催)」(76.2%)となっている。

【B これまでに利用したことがある】

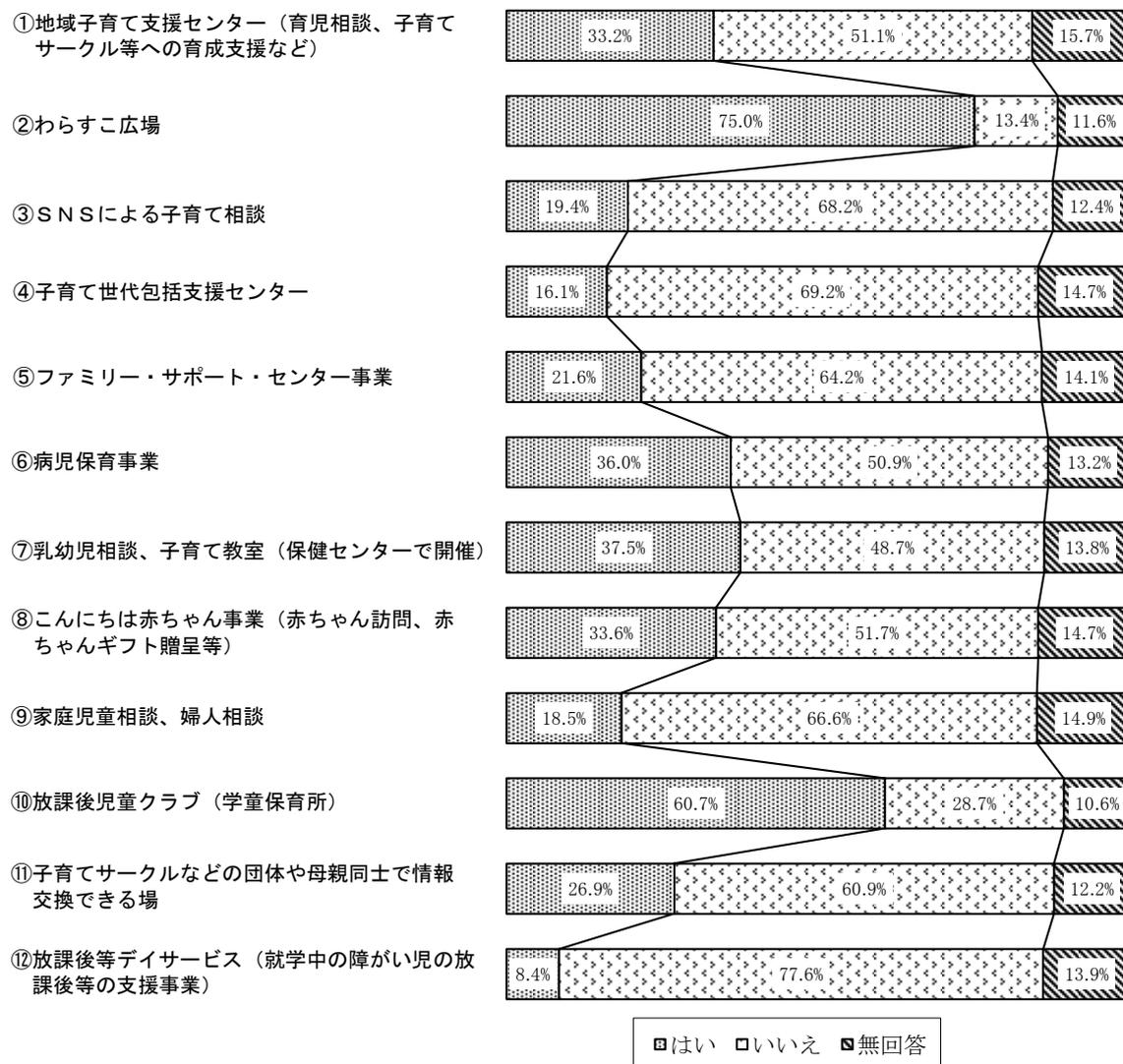
(調査数：509)



事業を利用したことがあるかでは、「わらすこ広場」が87.6%で最も多く、次いで「こんにちは赤ちゃん事業（赤ちゃん訪問、赤ちゃんギフト贈呈等）」（46.2%）となっている。

【C今後利用したい】

(調査数：509)



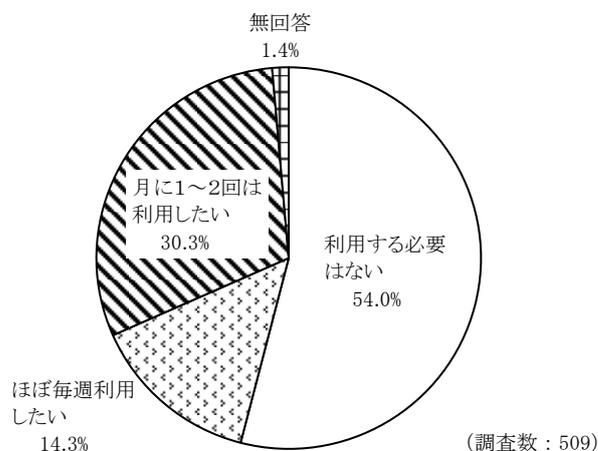
今後の事業の利用希望では、「わらすこ広場」が75.0%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育所）」（60.7%）となっている。

## 7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

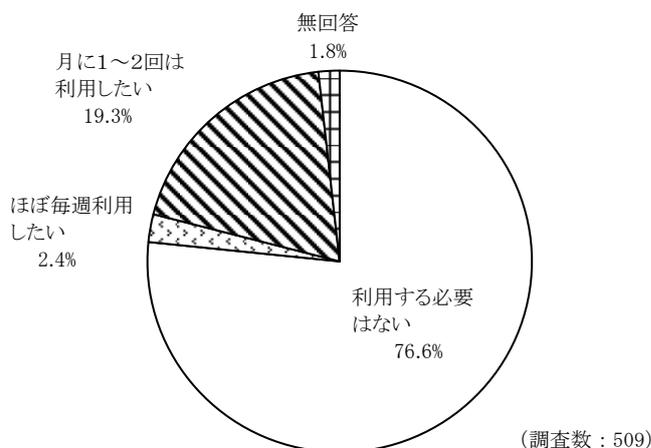
### （1）土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(1)】



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が54.0%と最も多くなっている。

一方、「月に1～2回は利用したい」（30.3%）、「ほぼ毎週利用したい」（14.3%）と利用希望は約4割以上となっている。

### （2）日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(2)】

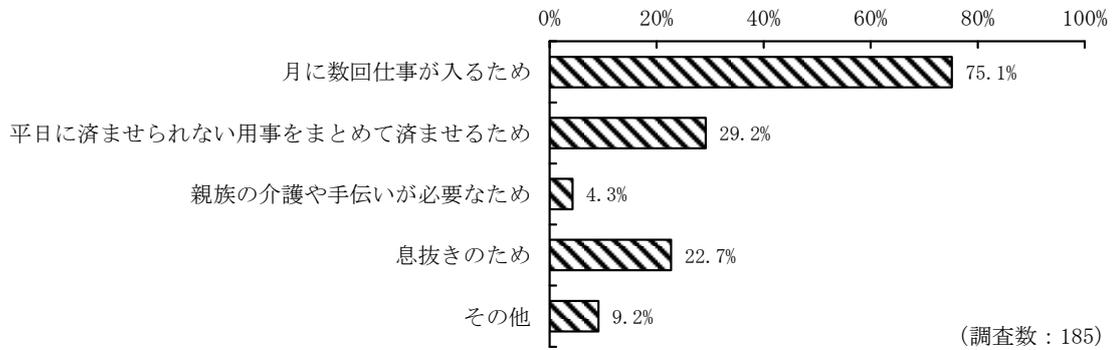


日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が76.6%と最も多くなっている。

一方、「月に1～2回は利用したい」（19.3%）、「ほぼ毎週利用したい」（2.4%）と利用希望は約2割となっている。

(3) 毎週ではなく、たまに利用したい理由【問 20-1】

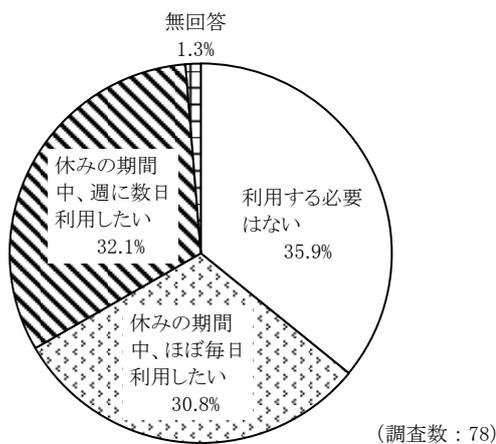
問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



毎週ではなく、たまに利用したい理由では、「月に数回仕事が入るため」が 75.1%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(29.2%)、「息抜きのため」(22.7%) の順となっている。

(4) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望【問 21】

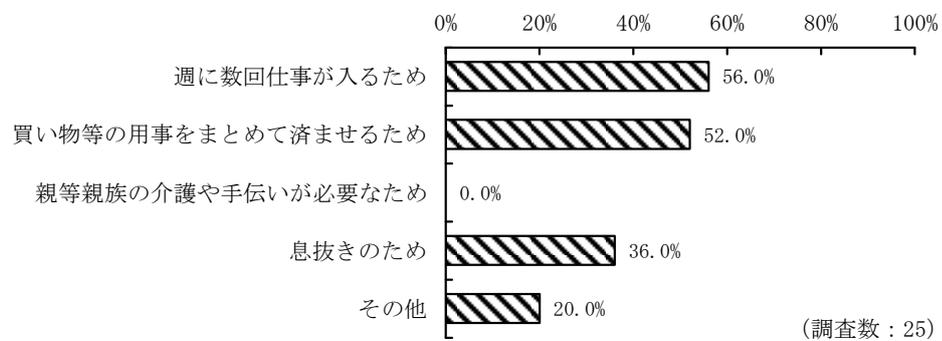
問 21 「幼稚園」を利用されている方にかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。



幼稚園を利用されている方の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望では、「休みの期間中、週に数日利用したい」(32.1%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(30.8%) と利用希望が 6 割以上となっている。

(5) 毎日ではなく、たまに利用したい理由【問 21-1】

問 21-1 問 21 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

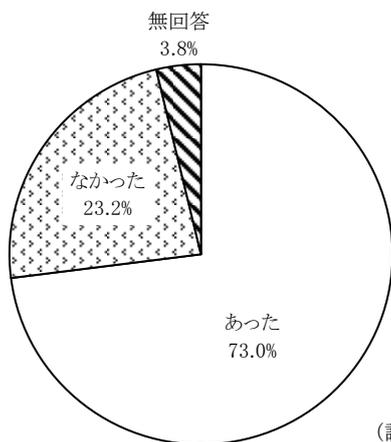


毎日ではなく、たまに利用したい理由では、「週に数回仕事が入るため」が 56.0%と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(52.0%)、「息抜きのため」(36.0%)の順となっている。

8. 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用される方のみ）

(1) この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかった状況【問 22】

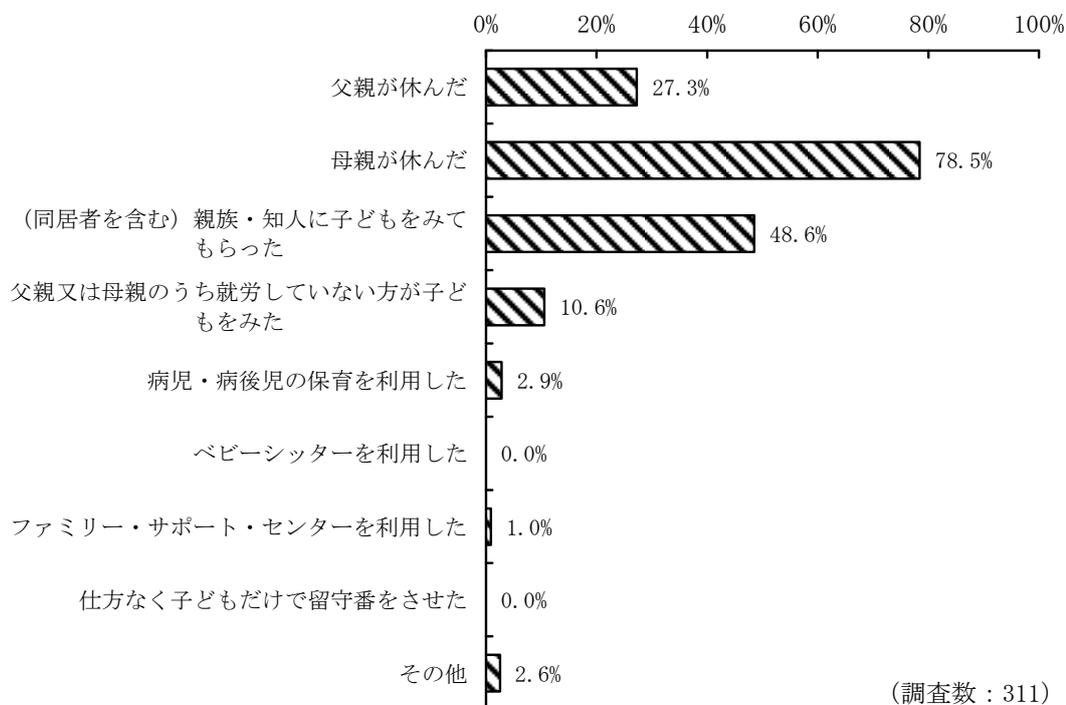
問 22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。  
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。



この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかった状況では、「あった」が73.0%、「なかった」が23.2%となっている。

(2) 通常の事業が利用できなかった場合の対処方法【問 22-1】

問 22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

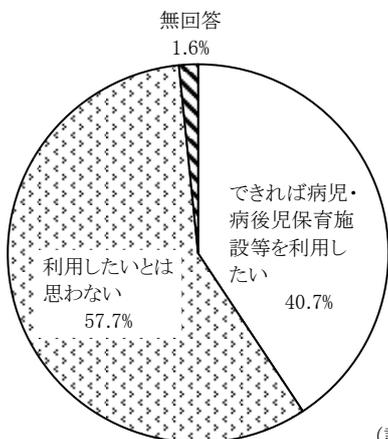


病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法では、「母親が休んだ」が78.5%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(48.6%)、「父親が休んだ」(27.3%)の順となっており、母親への依存度が高い。

(3) 病気やケガ時、保育施設等の利用希望【問 22-2】

問 22-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

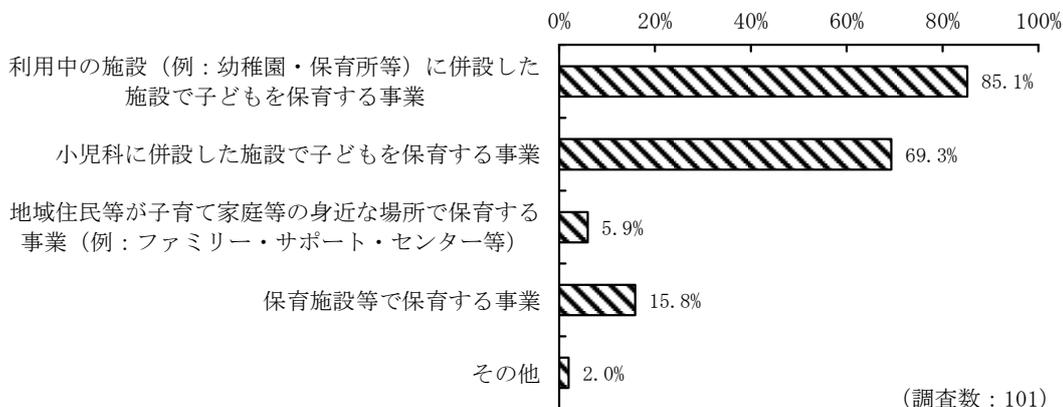


(調査数：248)

病気やケガ時、保育施設等の利用希望では、「利用したいとは思わない」が 57.7%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 40.7%となっている。

(4) 病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態【問 22-3】

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

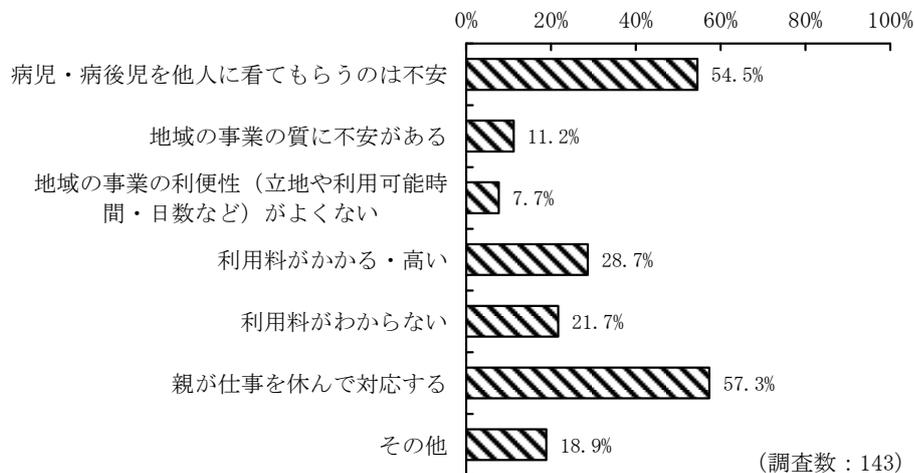


(調査数：101)

病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態では、「利用中の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 85.1%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（69.3%）となっている。

(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 22-4】

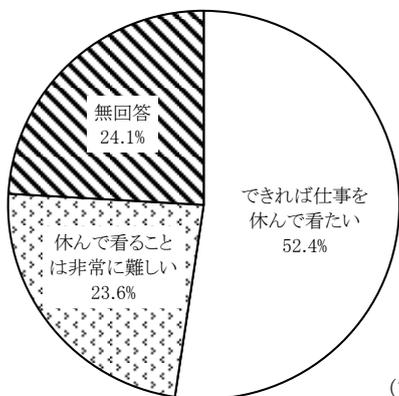
問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



病気やケガ時、保育施設等を利用したいと思わない理由では、「親が仕事を休んで対応する」が 57.3%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(54.5%) となっている。

(6) 病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか【問 22-5】

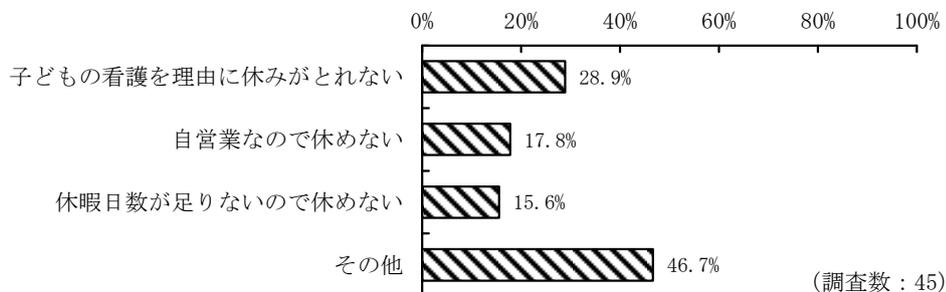
問 22-1 で「3.」から「9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。  
 問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。



病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかでは、「できれば仕事を休んで看たい」が 52.4%、「休んで看することは非常に難しい」が 23.6%となっている。

(7) 病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由【問 22-6】

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

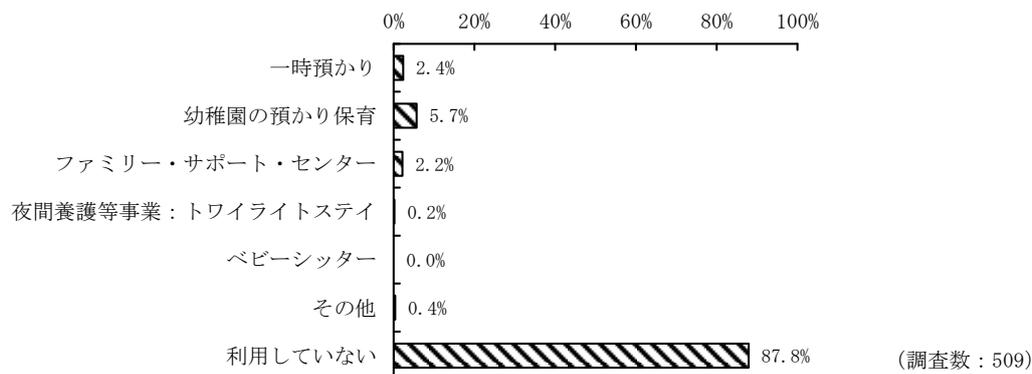


病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 28.9%、「自営業なので休めない」が 17.8%となっている。

## 9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### (1) 私用等の目的で利用している不定期の教育・保育事業【問 23】

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不  
定期の就労等の目的で不定期的に利用しているサービスはありますか。ある場合は、当てはまる番  
号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

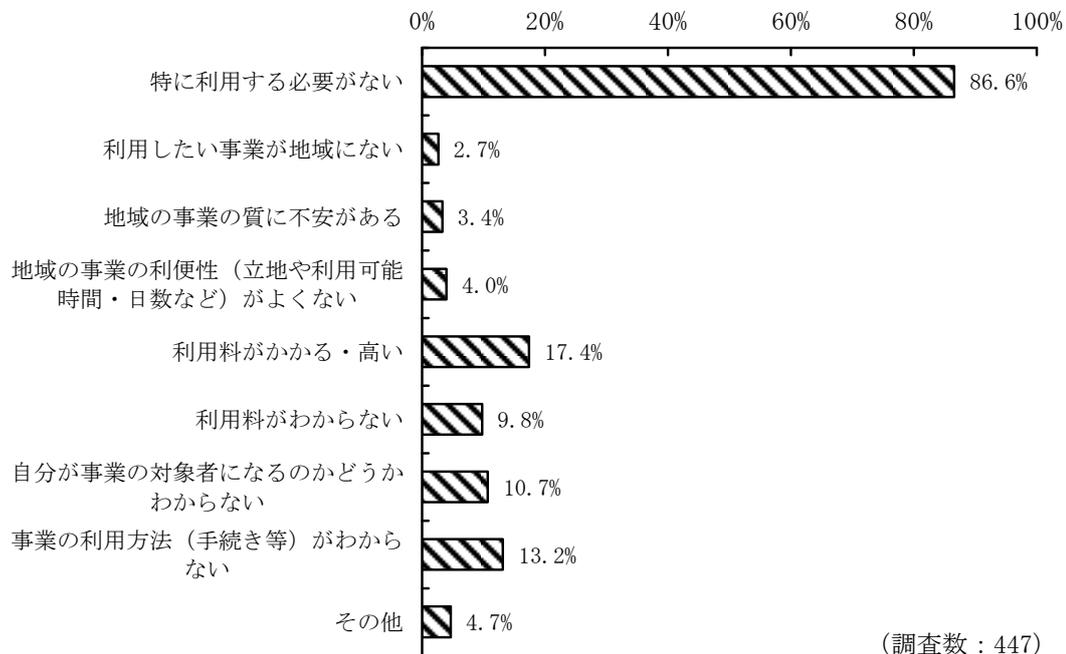


一時預かり … 私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業 ※障がい児等支援施設を含む  
幼稚園の預かり保育 … 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ  
ファミリー・サポート・センター … 地域住民が子どもを預かる事業  
夜間養護等事業：トワイライトステイ … 児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

私用等の目的で利用している不定期の教育・保育事業では、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ）」(5.7%)、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業 ※障がい児等支援施設を含む）」(2.4%) と一時預かりの利用率は低くなっている。

(2) 現在利用していない理由【問 23-1】

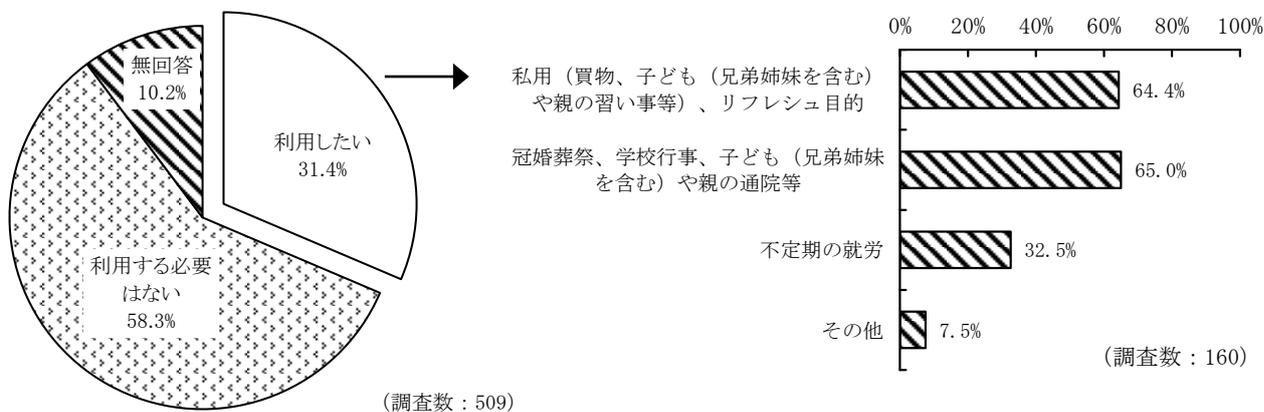
問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。  
問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



不定期の教育・保育事業を現在利用していない理由では、「特に利用する必要がない」が86.6%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(17.4%)、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」(13.2%)の順となっている。

(3) 利用したい理由【問 24】

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）。

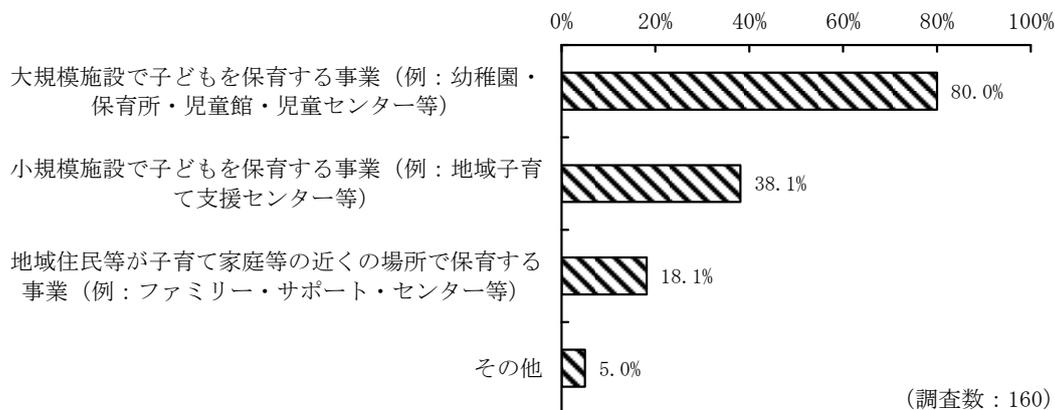


利用希望の有無では、「利用したい」が31.4%、「利用する必要はない」が58.3%となっている。

利用したい理由では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が65.0%と最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（64.4%）となっている。

(4) 私用等の目的でお子さんを預ける場合の望ましい事業形態【問 24-1】

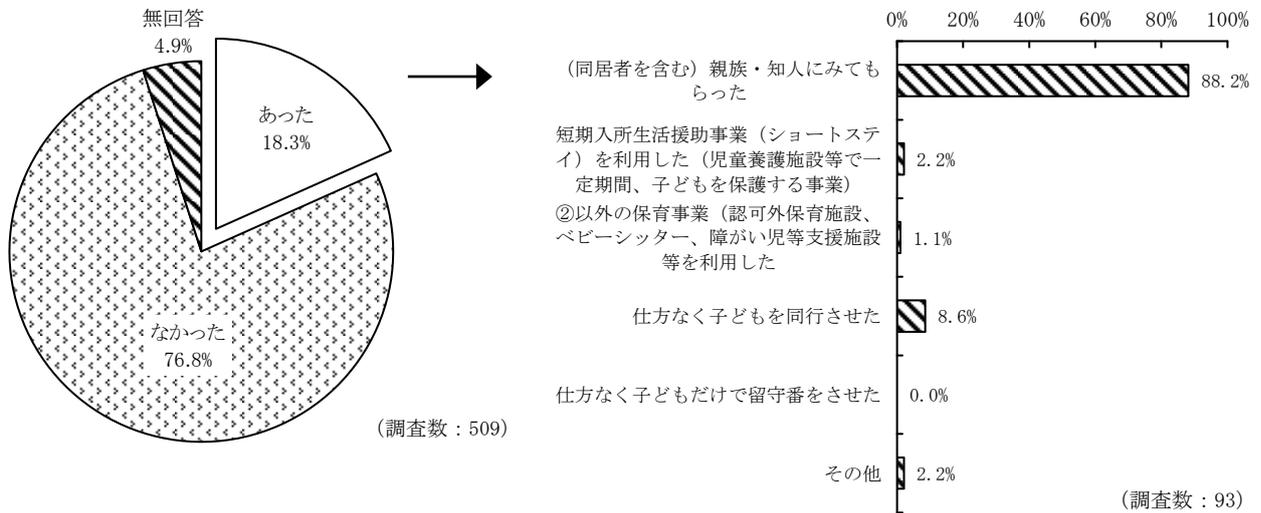
問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



私用等の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態では、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所・児童館・児童センター等）」が80.0%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援センター等）」(38.1%)となっている。

(5) この1年間での、宿泊を伴う一時預かり等の対処方法【問 25】

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

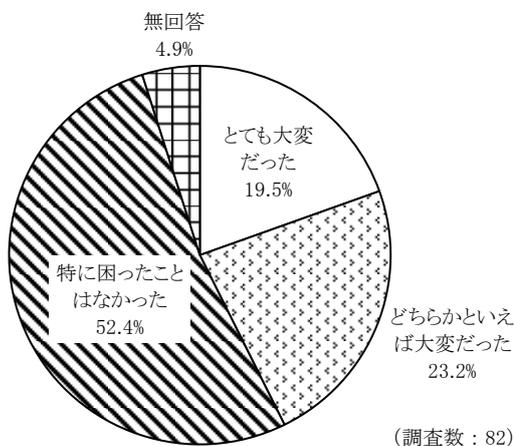


保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかでは、「あった」が18.3%、「なかった」が76.8%となっている。

あった場合の対処方法では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が88.2%と最も多くなっている。

(6) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった場合の困難度【問 25-1】

問 25 で「1. あった ①(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

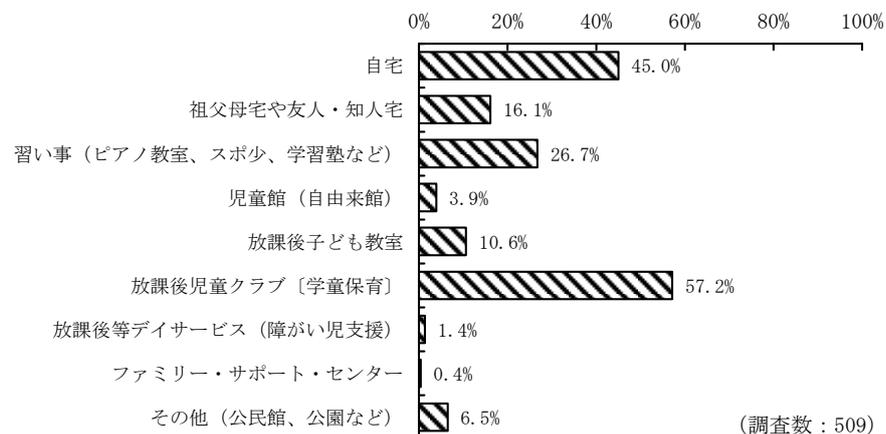


子どもを泊りがけで (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった場合の困難度では、52.4%が「特になかった」と回答している。

## 10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

### (1) 小学校低学年（1～3年生）の過ごし方【問26】

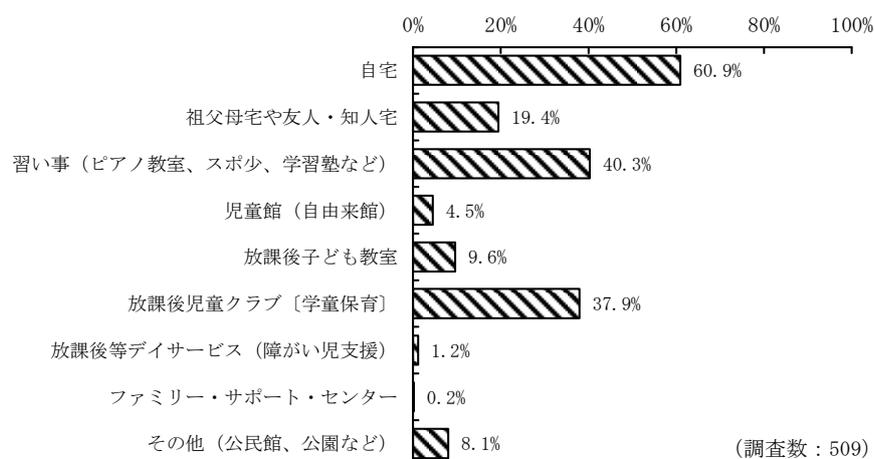
問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」「放課後等デイサービス」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。



小学校低学年（1～3年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、「放課後児童クラブ（学童保育）」が57.2%と最も多く、次いで「自宅」（45.0%）、「習い事（ピアノ教室、スポ少、学習塾など）」（26.7%）の順となっている。

### (2) 小学校高学年（4～6年生）の過ごし方【問27】

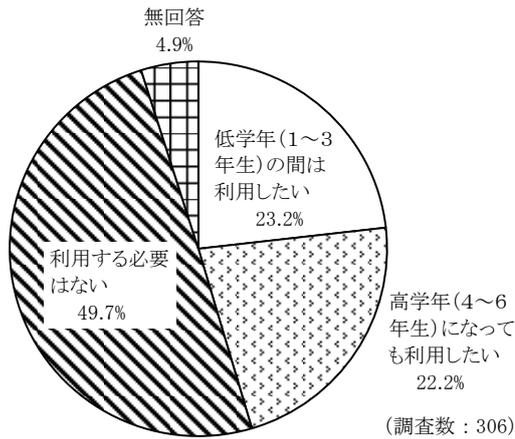
問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」「放課後等デイサービス」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。



小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、「自宅」が60.9%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポ少、学習塾など）」（40.3%）、「放課後児童クラブ（学童保育）」（37.9%）の順となっている。

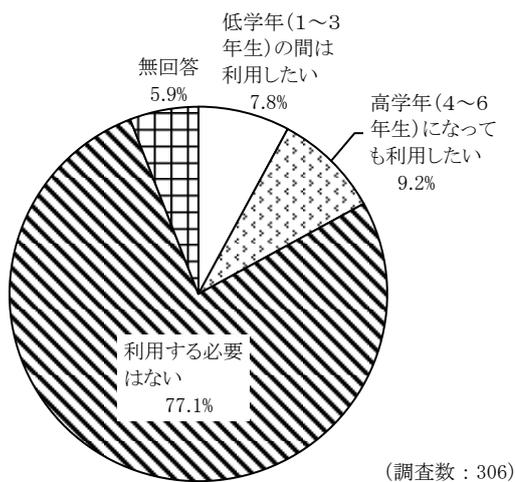
問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように 24 時間制でご記入ください。

（3）土曜日の放課後児童クラブの利用希望【問 28(1)】



土曜日の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 23.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 22.2%となっている。

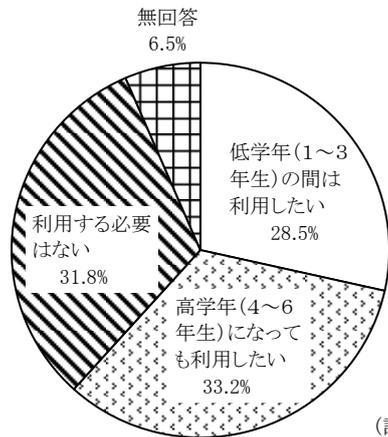
（4）日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望【問 28(2)】



日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 7.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 9.2%となっている。

(5) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望【問 29】

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の「放課後児童クラブ」「放課後等デイサービス」の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。



(調査数 : 509)

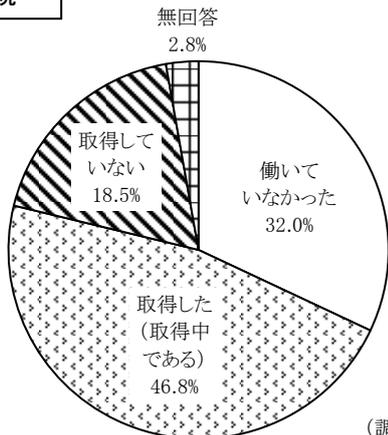
長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が28.5%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が33.2%となっている。

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方の育児休業の取得状況【問 30】

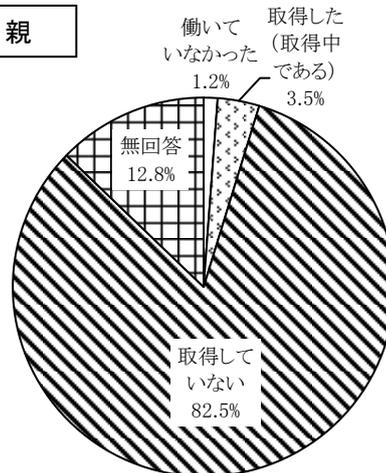
問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を点線で囲んだ部分から番号を選んでご記入ください。

母親



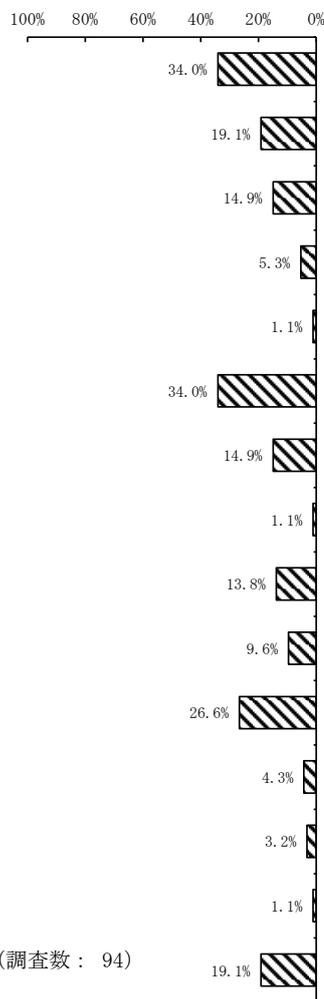
(調査数：509)

父親

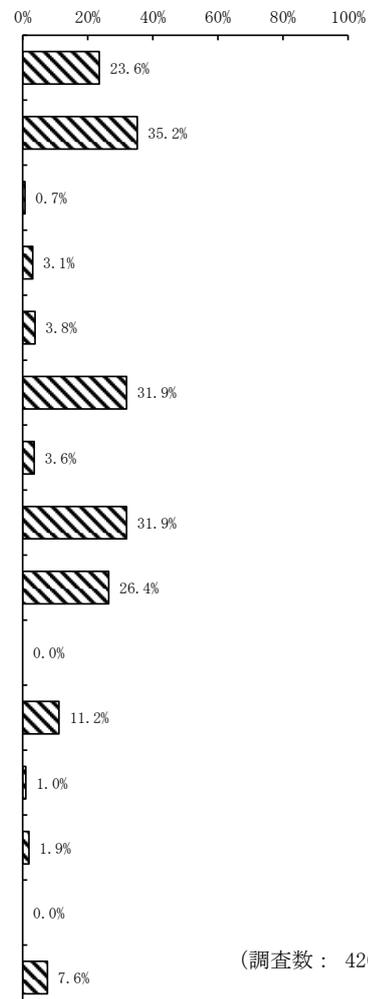


(調査数：509)

取得していない理由



(調査数：94)



(調査数：420)

子どもが生まれた時、母親の育児休業の取得状況では、「取得した(取得中である)」が46.8%、「働いていなかった」が32.0%となっている。

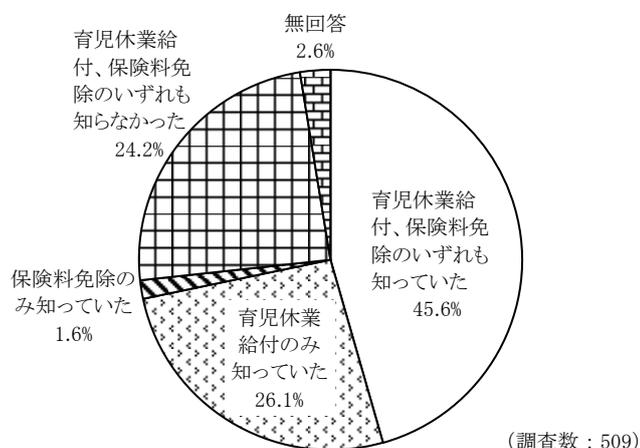
また、取得していない理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が34.0%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(26.6%)、「仕事が忙しかった」(19.1%)の順となっている。

子どもが生まれた時、父親の育児休業の取得状況では、「取得した(取得中である)」が3.5%であり、「取得していない」が82.5%と圧倒的に多い回答となっている。

また、取得していない理由では、「仕事が忙しかった」が35.2%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「配偶者が育児休業制度を利用した」(31.9%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(26.4%)の順となっている。

## (2) 育児休業給付、保険料免除の認識度【問 30-1】

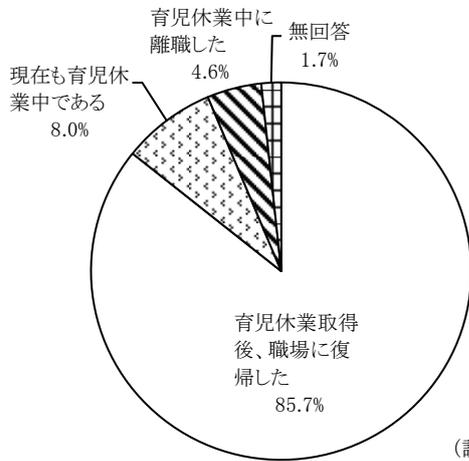
問 30-1 育児休業給付と保険料免除について、ご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



育児休業給付と保険料免除について知っていたかでは、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が45.6%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(26.1%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(24.2%)の順となっている。

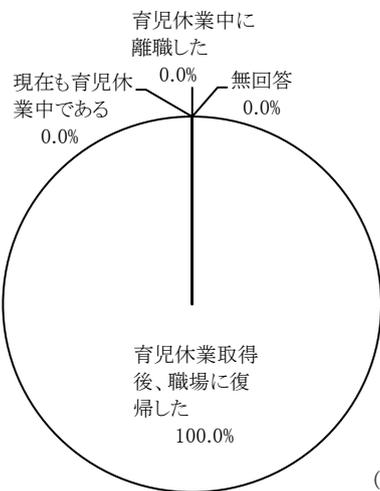
(3) 母親の育児休業取得後の職場復帰【問 30-2(1)】

問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。  
問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 85.7%となっている。

(4) 父親の育児休業取得後の職場復帰【問 30-2(2)】

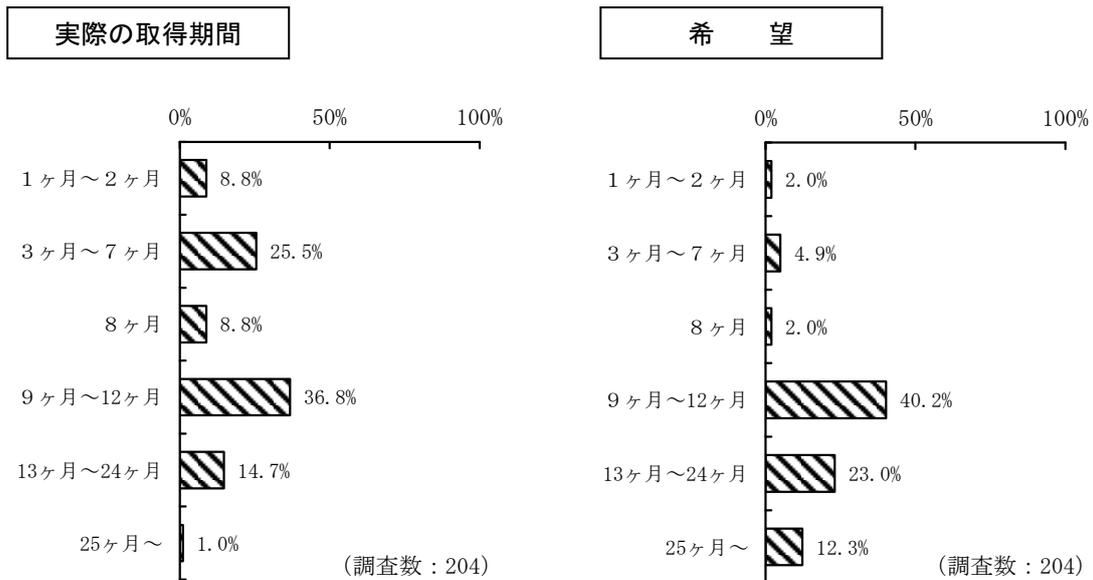


父親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 100.0%となっている。

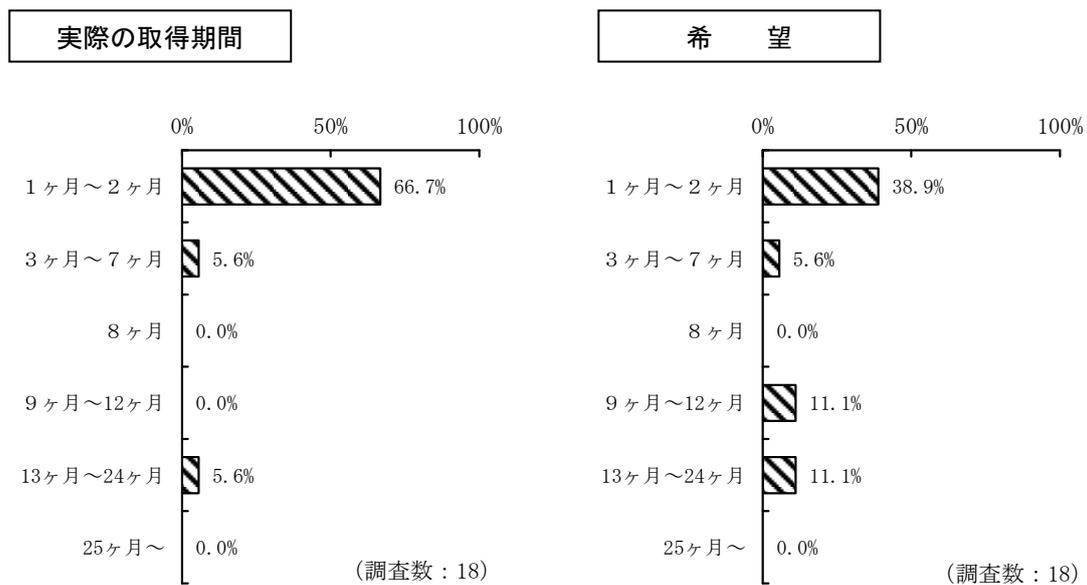
問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(5) 母親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 30-3(1)】



(6) 父親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 30-3(2)】



母親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「9ヶ月～12ヶ月」が36.8%と最も多く、次いで「3ヶ月～7ヶ月」(25.5%)となっている。

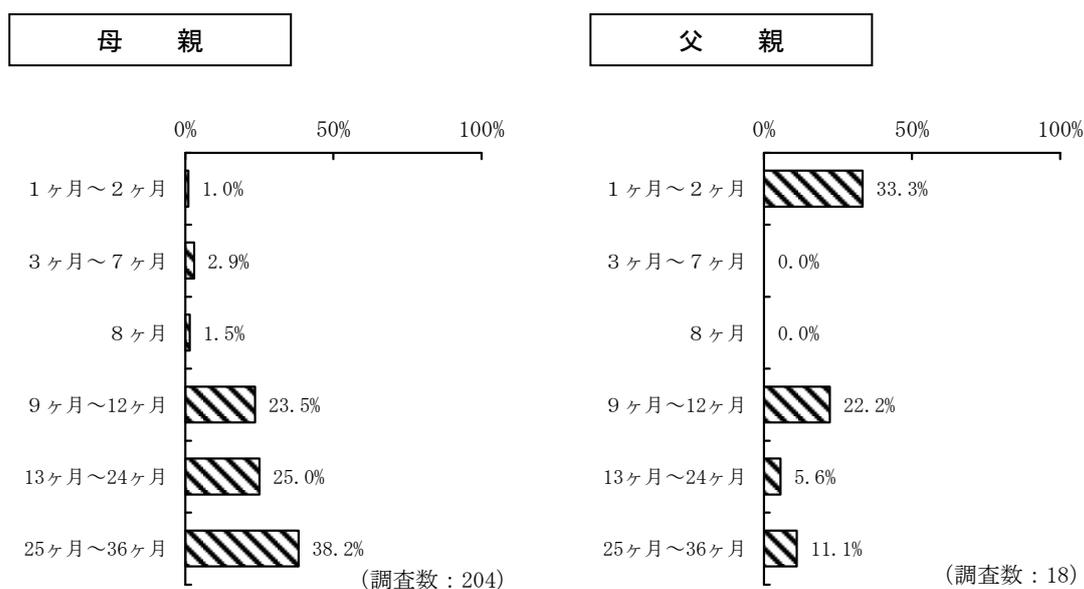
また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が40.2%と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(23.0%)となっている。

父親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「1ヶ月～2ヶ月」が66.7%となっている。

また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「1ヶ月～2ヶ月」が38.9%となっている。

(7) 3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望【30-4(1)(2)】

問 30-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください。



母親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「25ヶ月～36ヶ月」が38.2%と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(25.0%)となっている。

父親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「1ヶ月～2ヶ月」が33.3%と最も多く、次いで「9ヶ月～12ヶ月」(22.2%)となっている。

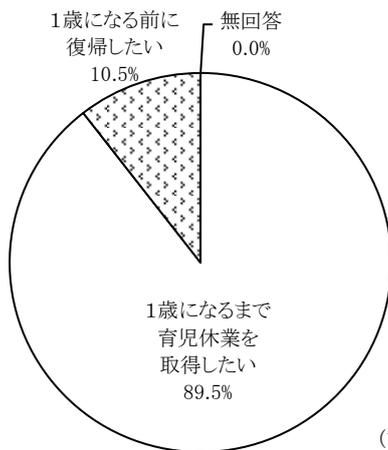
(8) 1歳になったときに必ず利用できるサービス、または預けられる事業があった場合の

育児休業の取得の有無、1歳になる前の復帰の有無【問 30-5(1)(2)】

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-5 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母 親



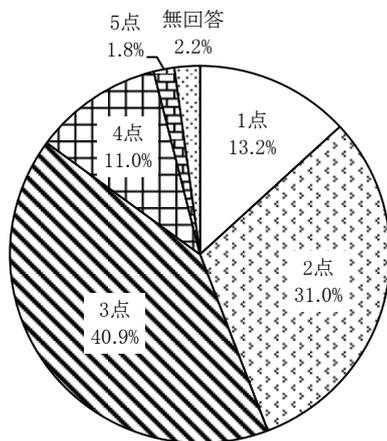
(調査数：19)

母親の子どもが1歳になったときに必ず利用できるサービス、または預けられる事業があった場合の育児休業の取得の有無、1歳になる前の復帰の有無では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が89.5%、「1歳になる前に復帰したい」が10.5%となっている。

## 12. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

### (1) 本市における子育ての環境や支援への満足度【問31】

問31 本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



(調査数：509)

新庄市における子育ての環境や支援への満足度では、中間点である「3点」が40.9%と最も多くなっている。

また、「4点」(11.0%)と「5点」(1.8%)を合わせた満足度が高いとみられる回答は12.8%となっている。

一方、「1点」(13.2%)と「2点」(31.0%)を合わせた満足度が低いとみられる回答は44.2%となっている。

(2) 教育・保育環境の充実や障がい児への支援、

妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関する意見【問 32】

問 32 最後に、教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関して 283 件の意見が寄せられ、「遊び場」や「手当て・補助金」に関する記述が多くなっている。

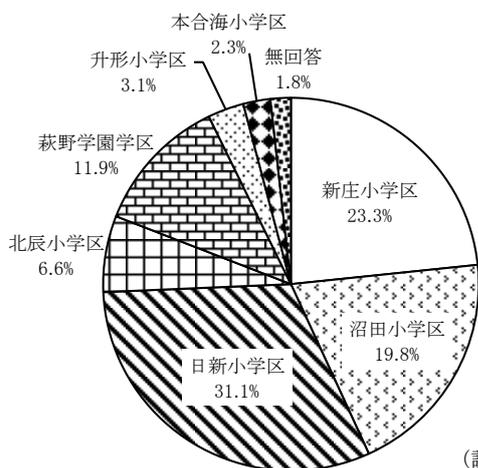
大分類	小分類	件数	構成比
1. 保育サービス	①保育所	45	15.9%
	②幼稚園	2	0.7%
	③こども園	0	0.0%
	④一時保育	6	2.1%
	⑤学童保育	19	6.7%
	⑥学校	6	2.1%
	⑦その他	23	8.1%
2. 子育て支援	①子育て支援センター	12	4.2%
	②イベント	13	4.6%
	③手当て・補助金	86	30.4%
	④情報提供	32	11.3%
	⑤相談	9	3.2%
	⑥その他	20	7.1%
3. 医療	①医療費	3	1.1%
	②医療機関	46	16.3%
	③その他	6	2.1%
4. 環境	①遊び場	93	32.9%
	②治安	1	0.4%
	③交通	5	1.8%
	④その他	11	3.9%
5. その他		62	21.9%
合 計		283	

## Ⅱ－２ 小学生児童

### 1. お住まいの地域について

#### (1) お住まいの地区【問1】

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

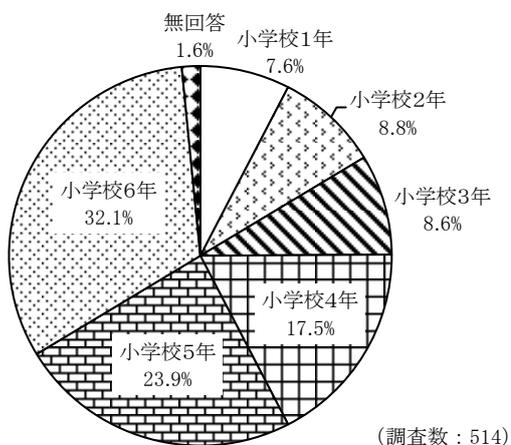


住まいの地区では、「日新小学区」(31.1%)が最も多く、次いで「新庄小学区」(23.3%)、「沼田小学区」(19.8%)となっている。

### 2. お子さんと家族の状況について

#### (1) お子さんの学年【問2】

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

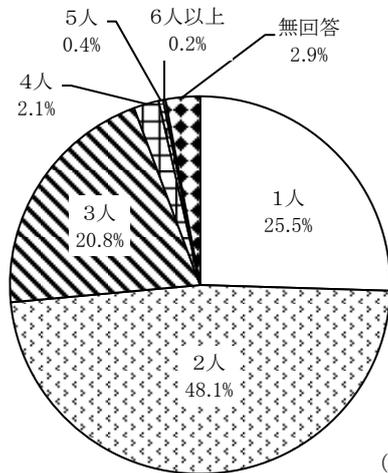


学年をみると、「小学校6年」(32.1%)が最も多く、次いで「小学校5年」(23.9%)、「小学校4年」(17.5%)となっている。

※年齢算出基準は、抽出時点(H25.10.1)とする。

(2) お子さんの人数、末子の年齢【問3】

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

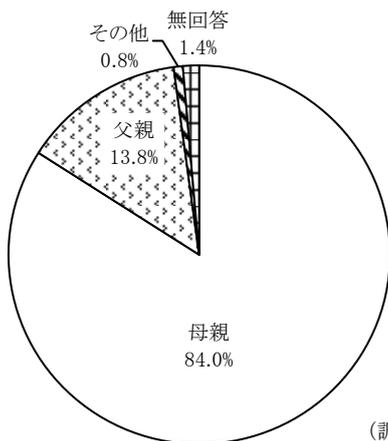


(調査数 : 514)

子どもの人数は、「2人」(48.1%)が最も多く、次いで「1人」(25.5%)、「3人」(20.8%)となっている。

(3) この調査票にご回答いただく方(宛名のお子さんからみた関係)【問4】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

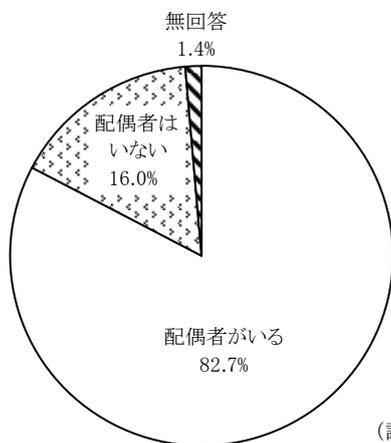


(調査数 : 514)

調査の回答者では、「母親」(84.0%)が最も多く、次いで「父親」(13.8%)となっている。

(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問5】

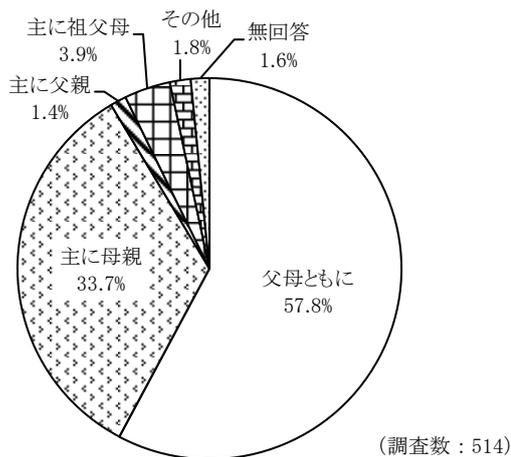
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



配偶者の有無では、「配偶者がいる」が82.7%、「配偶者がいない」が16.0%となっている。

(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問6】

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

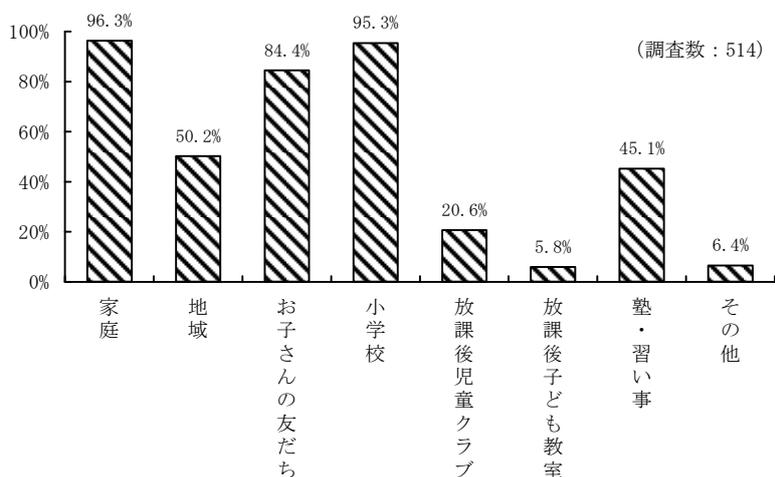


子育てを主に行っている方では、「父母ともに」(57.8%)が最も多く、次いで「主に母親」(33.7%)、「主に祖父母」(3.9%)となっている。

### 3. 子どもの育ちをめぐる環境について

#### (1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境【問7】

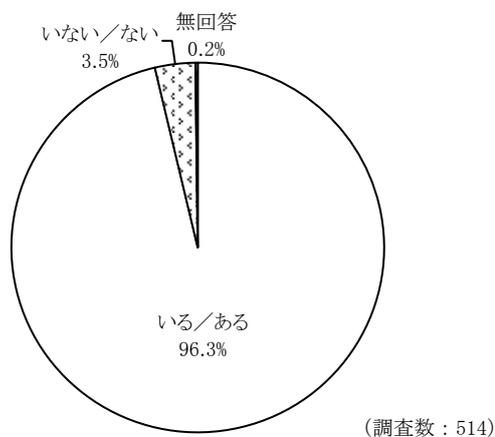
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境では、「家庭」（96.3%）が最も多く、次いで「小学校」（95.3%）、「お子さんの友だち」（84.4%）となっている。

#### (2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所の状況【問8】

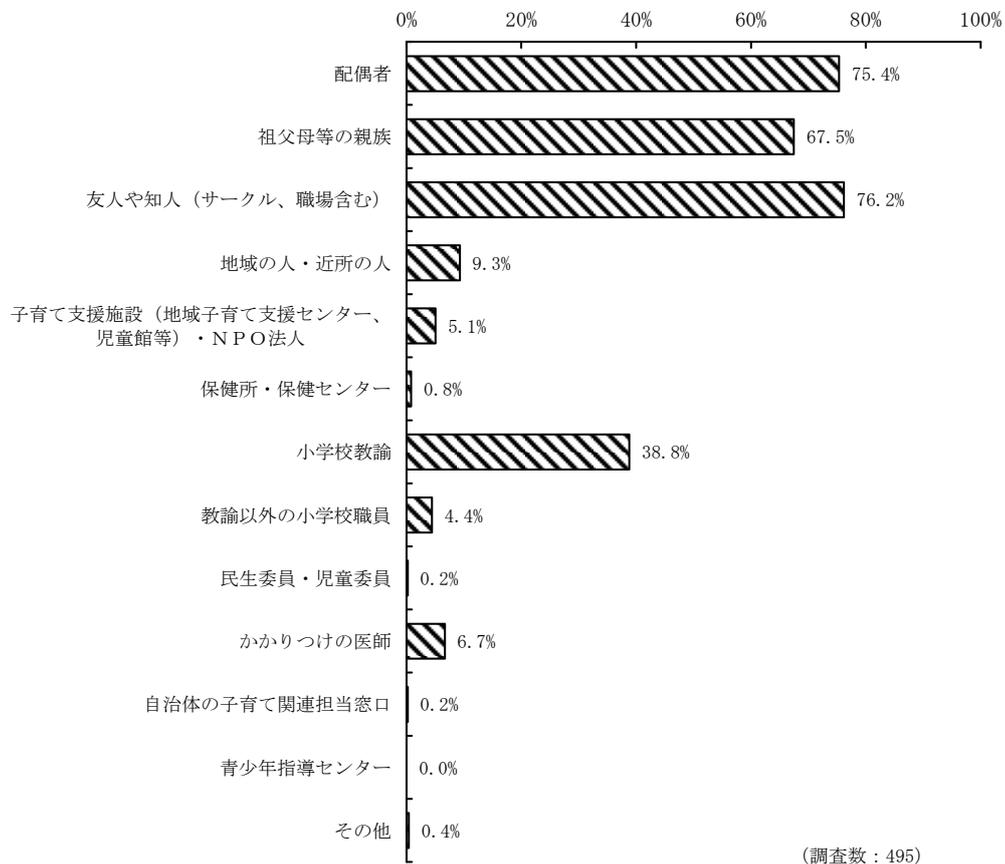
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の状況では、96.3%が「いる／ある」と回答している。

(3) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先について【問8-1】

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先では、「友人や知人（サークル、職場含む）」が76.2%と最も多く、次いで「配偶者」（75.4%）、「祖父母等の親族」（67.5%）となっている。

(4) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先がない理由【問8-2】

問8-2 問8で「2. いない／ない」に○をつけた方はいかがでしょうか。その理由をご自由にお書きください。

- ◆学校も教育委員会にも相談したことがあるが、親身になって聞いているとは思えず、相談するのをやめた。
- ◆普段の会話では話せるが、真剣に相談できる機会がない。
- ◆発達障がいへの理解がない。
- ◆発達障がいがあり、なかなか理解してもらえなかったり、やってもらえないので相談するだけ無駄だし疲れるから。
- ◆どこに相談すればよいかわからない。具体的な解決方法がない。
- ◆母方の両親に相談しても、自分の意見を押し付け、子育て上の考えが合わない。学校の担任も、両親より年上で相談しにくい。ママ友はいるが、シングル家族ではないので、相談する気にならない。
- ◆進学に関して地域のレベルが低すぎて、誰にも相談できないし、相談にならない。兄達も独自のやり方でトップ高に入学した。
- ◆古い考えが多く、相談しても話にならない。
- ◆友達がいないから。
- ◆母子家庭なので。
- ◆ないものは、ない。
- ◆3人目のため、1人目に比べ知識があり、困っていることがあまりない。
- ◆相談してもどうにもならない。
- ◆特に必要としていないので、探してもいない。
- ◆相談する事もない。

(5) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からあればよいと思うサポート【問9】

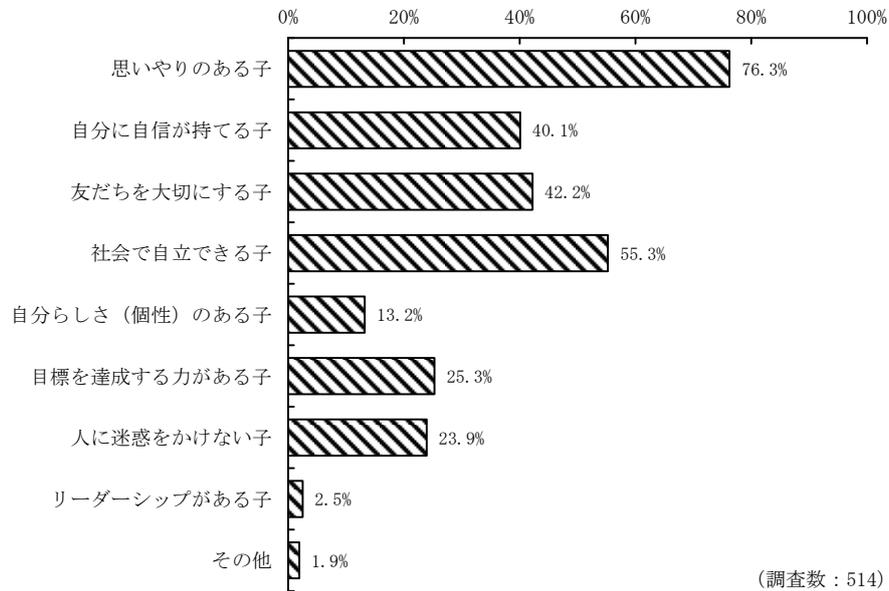
問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者、教員など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいと考えるかについては、160件の意見が寄せられ、「相談できるサポート」、「学校・教員のサポート」に関する記述が多くなっている。

分 類	件 数	構成比
相談できるサポート	32	16.5%
学校・教員のサポート	23	11.9%
特にサポートは不要	23	11.9%
情報提供	18	9.3%
学校以外での学習のサポート	15	7.7%
身近な人による見守りサポート	15	7.7%
集いの場によるサポート	9	4.6%
金銭的なサポート	7	3.6%
放課後のサポート	6	3.1%
教育費のサポート	5	2.6%
親の休息サポート	5	2.6%
休日のサポート	4	2.1%
送迎等のサポート	4	2.1%
病児に対するサポート	3	1.5%
行政に希望するサポート	3	1.5%
日常生活のサポート	2	1.0%
遊びの場のサポート	2	1.0%
障がい児に対するサポート	2	1.0%
医療費のサポート	1	0.5%
その他	15	7.7%
合 計	194	

(6) 宛名のお子さんは、どんな子に育ってほしいと思うか【問 10】

問 10 宛名のお子さんは、どんなお子さんに育ってほしいと思いますか。当てはまる項目上位3つまで○をつけてください。

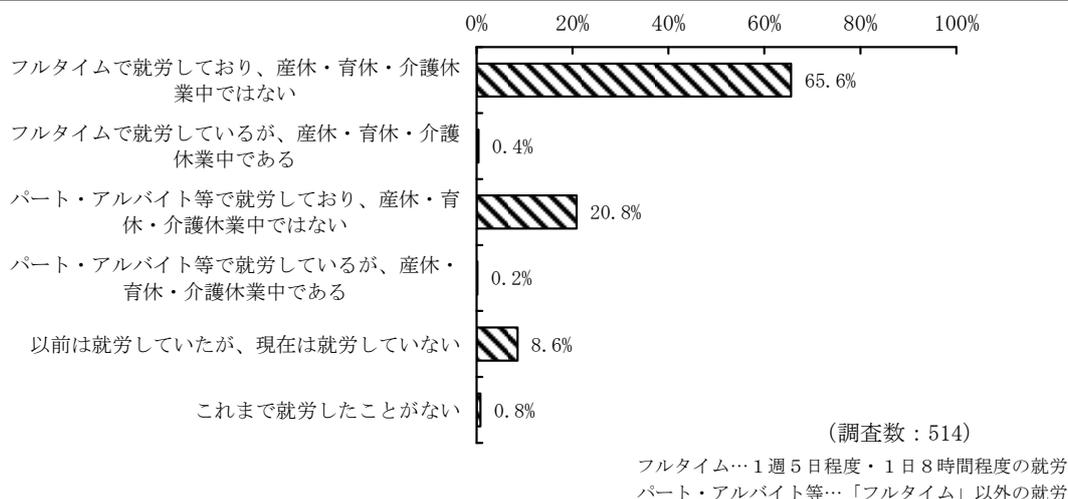


どんな子に育ってほしいと思うかでは、「思いやりのある子」が76.3%と最も多く、次いで「社会で自立できる子」(55.3%)、「友だちを大切にする子」(42.2%)、「自分に自信が持てる子」(40.1%)の順となっている。

#### 4. 保護者の就労状況について

##### (1) 母親の現在の就労状況【父子家庭の場合は記入は不要】【問 11(1)】

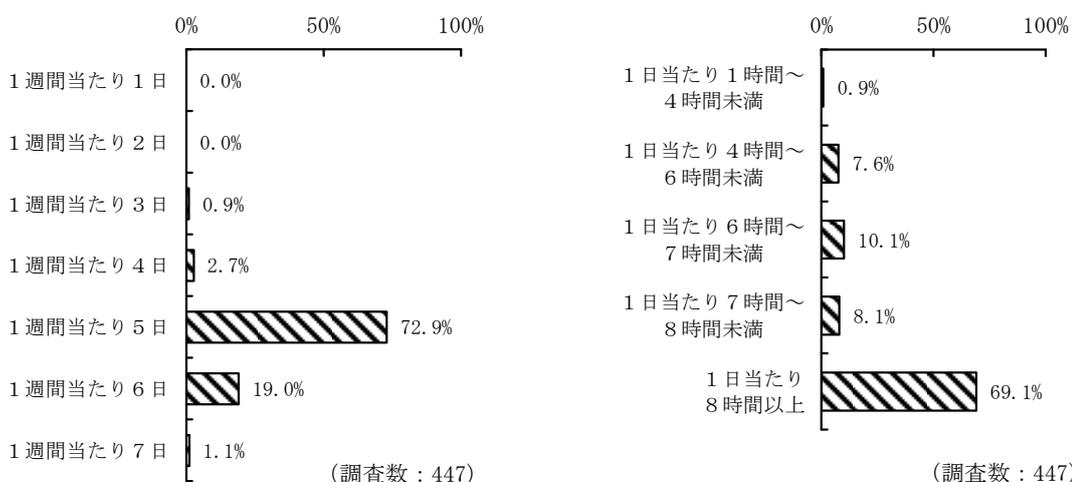
問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
 (1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が65.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等〔(フルタイム) 以外の就労〕で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(20.8%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(8.6%)となっている。

##### (2) 母親の就労日数、就労時間について【問 11(1)-1】

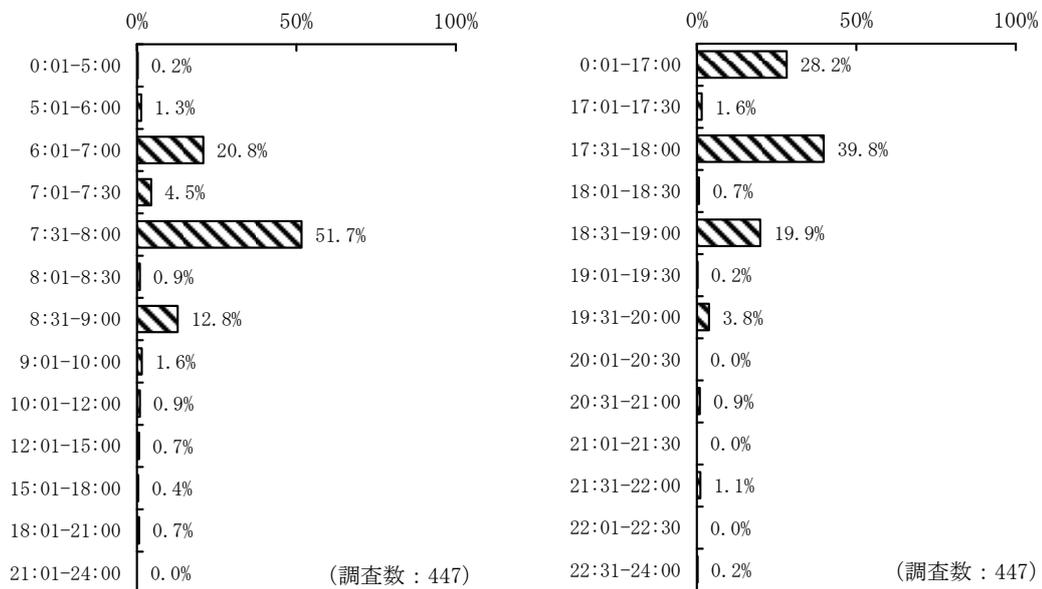
問 11(1)-1 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している母親の1週間当たりの就労日数では、「5日」が72.9%と最も多く、1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が69.1%と最も多くなっている。

(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 11(1)-2】

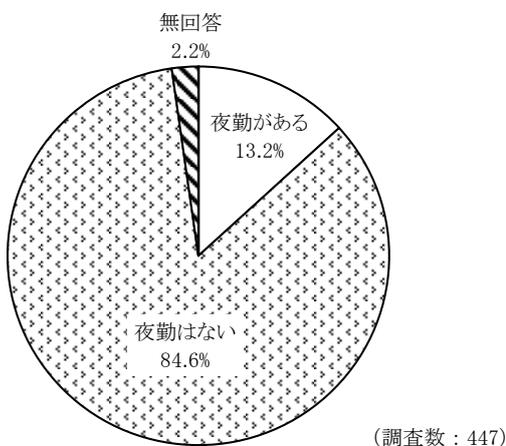
問 11(1)-2 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間は、「7時31分～8時」が51.7%と最も多く、帰宅時間は、「17時31分～18時」が39.8%と最も多くなっている。

(4) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 11(1)-3】

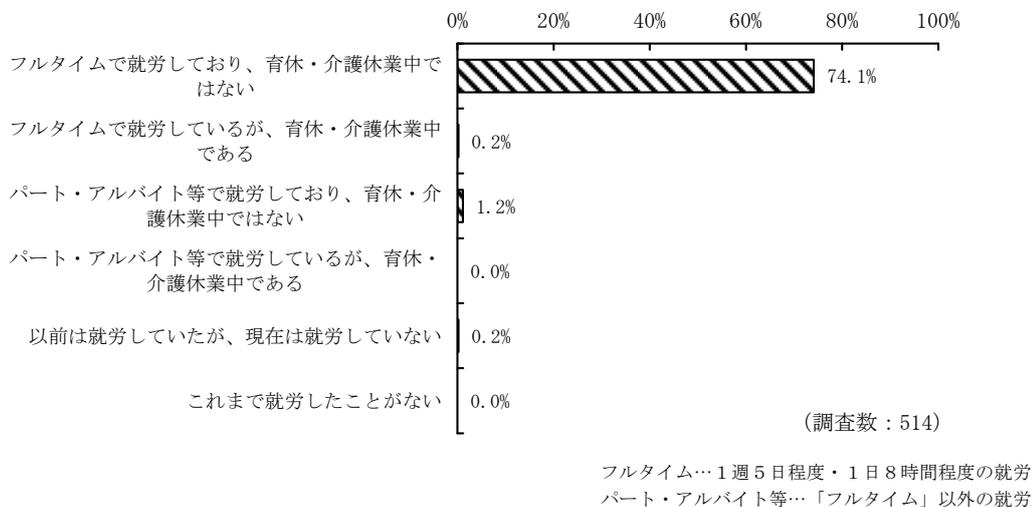
問 11(1)-3 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤はない」が84.6%、「夜勤がある」が13.2%となっている。

(5) 父親の現在の就労状況 [母子家庭の場合は記入は不要] 【問 11(2)】

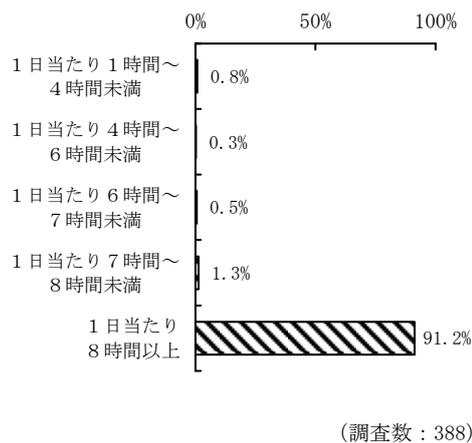
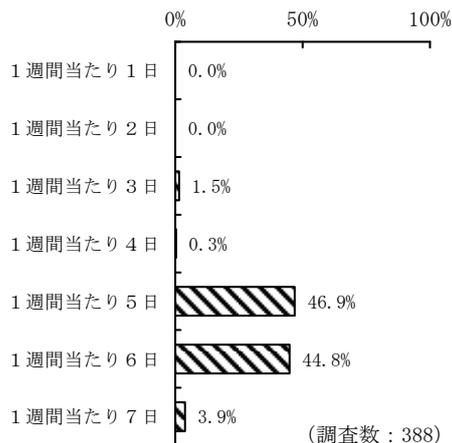
問 11(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。



父親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が74.1%と最も多く、7割以上となっている。

(6) 父親の就労日数、就労時間について【問 11(2)-1】

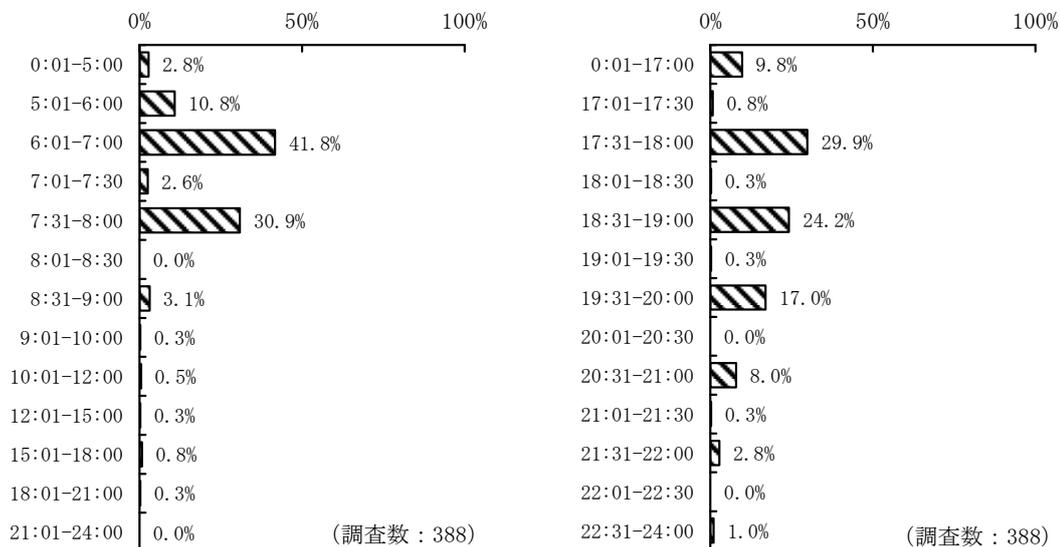
問 11(2)-1 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している父親の1週間当たりの就労日数では、「5日」が46.9%と最も多いが、「6日」も44.8%で4割以上となっている。1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が91.2%と最も多くなっている。

(7) 父親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 11(2)-2】

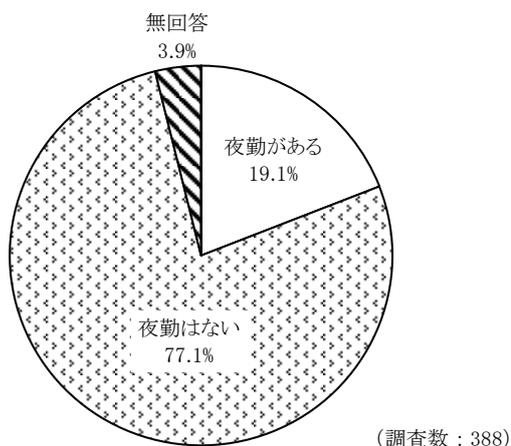
問 11(2)-2 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間は、「6時1分～7時」が41.8%と最も多く、帰宅時間は、「17時31分～18時」が29.9%と最も多くなっている。

(8) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 11(2)-3】

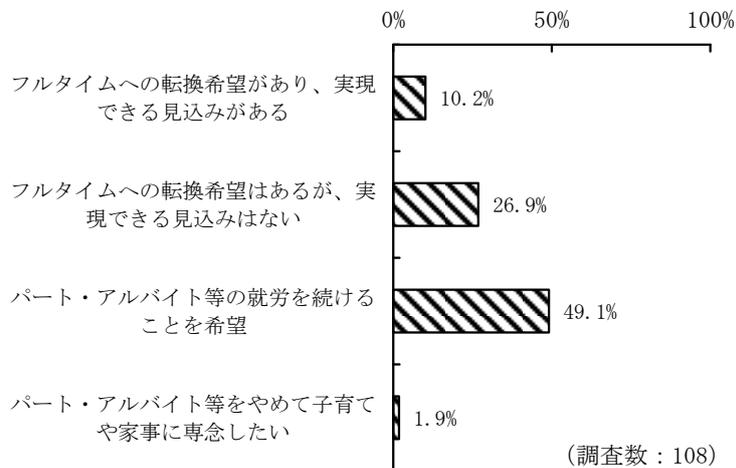
問 11(2)-3 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤はない」が77.1%、「夜勤がある」が19.1%となっている。

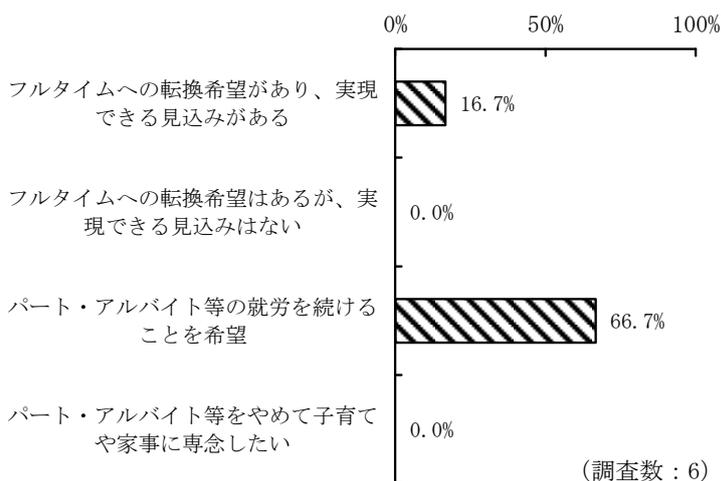
(9) 母親のフルタイムへの転換希望【問 12(1)】

問 12 問 11 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 9 へお進みください。  
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等〔(フルタイム) 以外の就労〕の就労を続けることを希望」が 49.1%と最も多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(26.9%)となっている。

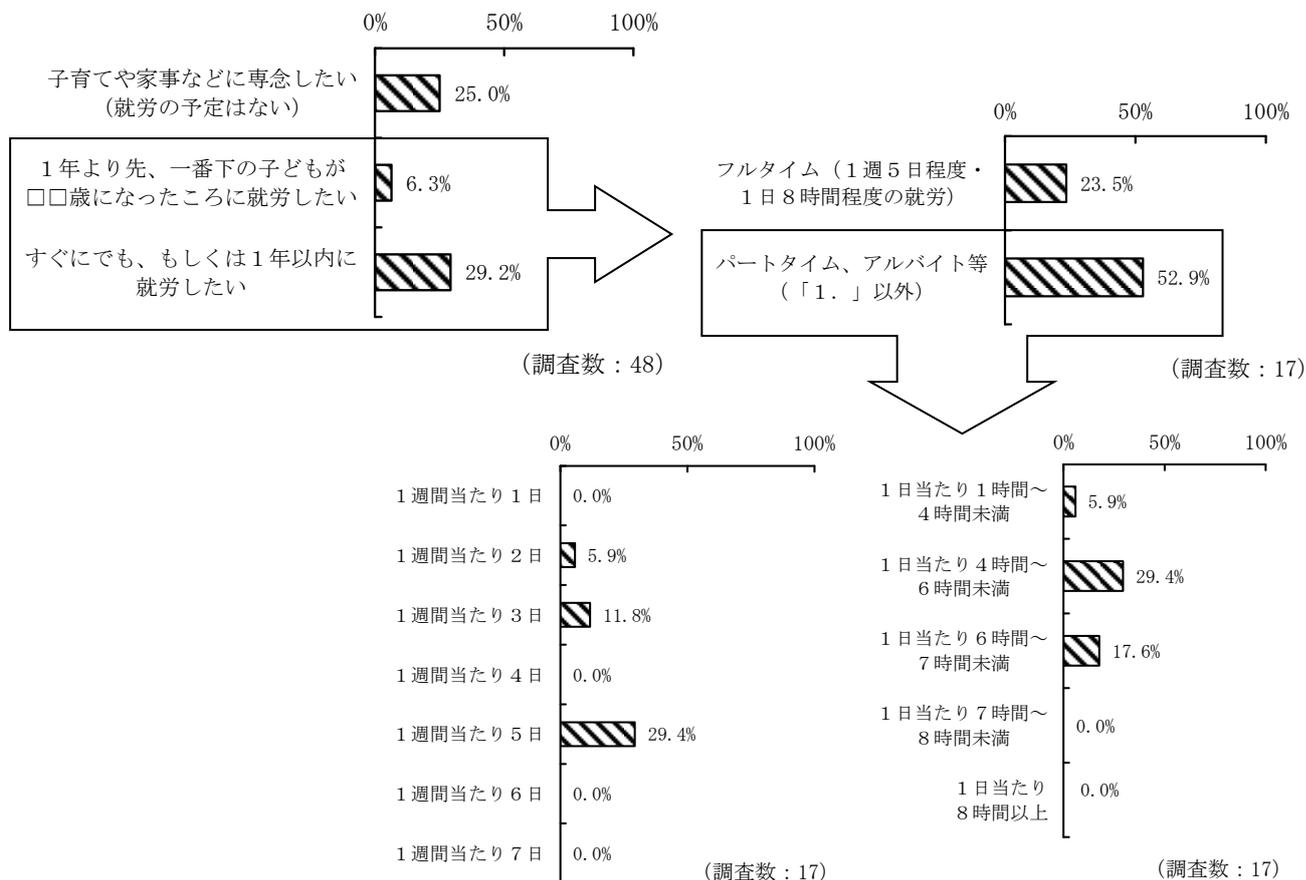
(10) 父親のフルタイムへの転換希望【問 12(2)】



パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等〔(フルタイム) 以外の就労〕の就労を続けることを希望」が(66.7%)と6割以上となっている。

(11) 母親の就労希望【問 13(1)】

問 13 問 11 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 10 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。



【1年より先、一番下の子どもが何歳になったときに就労を希望するか】 [問13(1)で2を選択]

(単一回答)

	1 1歳～2歳	2 3歳～5歳	3 6歳～8歳	4 9歳～11歳	5 12歳以上	無回答	合計
件数	0	0	0	1	2	0	3
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%

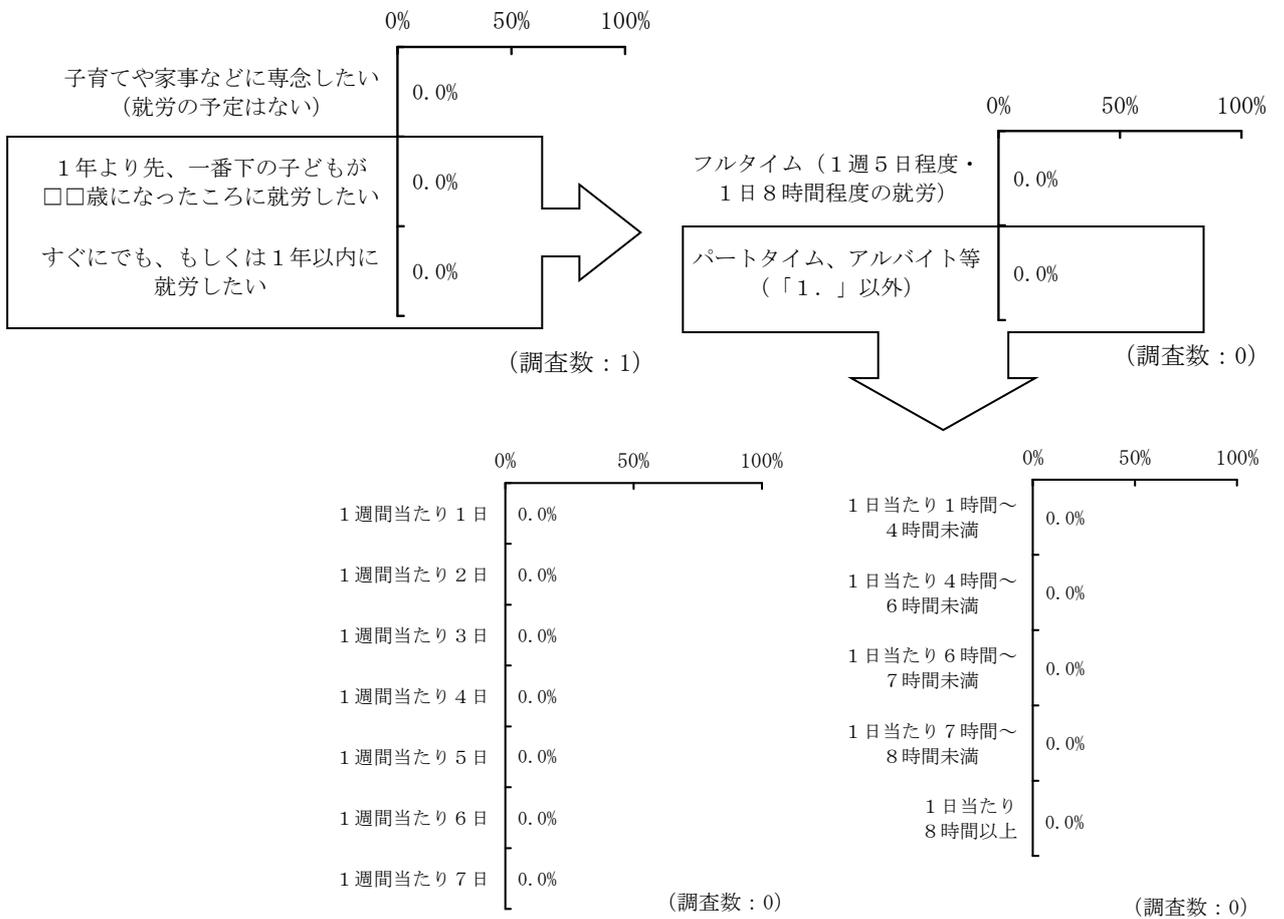
現在就労していない母親の今後の就労希望では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.2%、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい」が6.3% (「12歳以上」が最も多い) と3割以上の就労希望がある。

一方、「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」が25.0%となっている。

希望する就労形態では、「パート・アルバイト等 [(フルタイム) 以外の就労]」(52.9%)、「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」(23.5%) となっている。

パート・アルバイト等への就労希望者の1週間当たりの就労希望日数は、「5日」が29.4%と最も多くなっている。また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」が29.4%と最も多くなっている。

(12) 父親の就労希望【問 13(2)】



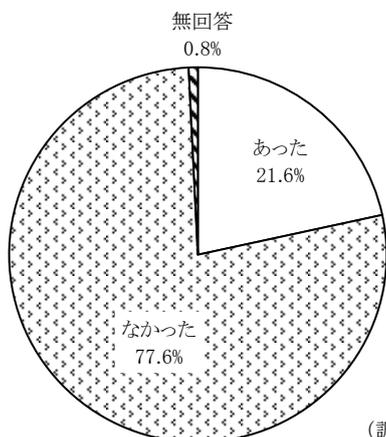
※ 1週間当たりの就労日数、1日当たりの就労時間共に無回答

現在就労していない父親の今後の就労希望では、該当者がいない。

## 5. 病気の際の対応について

### (1) この1年間に、病気やケガで小学校が利用できなかった状況【問 14】

問 14 宛名のお子さんについて、この1年間に、病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要がありましたか。

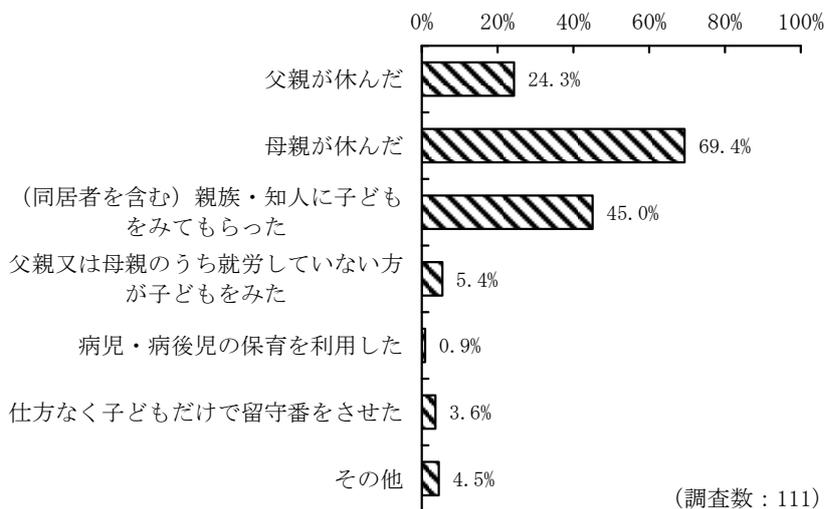


(調査数：514)

子どもが病気やケガで小学校が利用できなかった状況では、「あった」が21.6%、「なかった」が77.6%となっている。

### (2) 小学校が利用できなかった場合の対処方法【問 14-1】

問 14-1 宛名のおさんが病気やけがで小学校に通うことができなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。



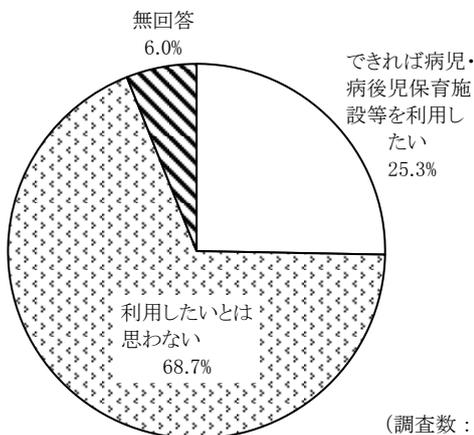
(調査数：111)

子どもが病気やケガで小学校が利用できなかった場合の対処方法では、「母親が休んだ」が69.4%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(45.0%)、「父親が休んだ」(24.3%)の順となっており、母親への依存度が高くなっている。

(3) 病気やケガ時、保育施設等の利用希望【問 14-2】

問 14-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にかがいます。

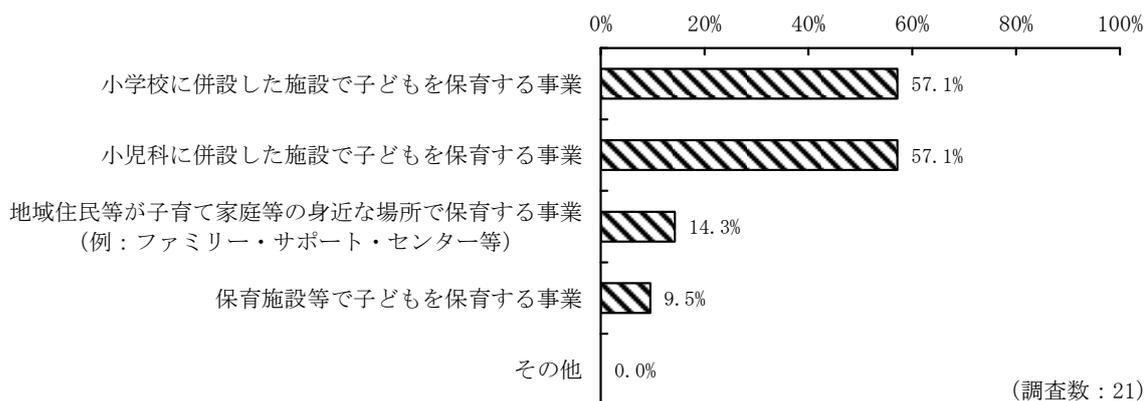
問 14-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。



子どもが病気やケガ時、保育施設等の利用希望では、「利用したいとは思わない」が 68.7%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 25.3%となっている。

(4) 病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態【問 14-3】

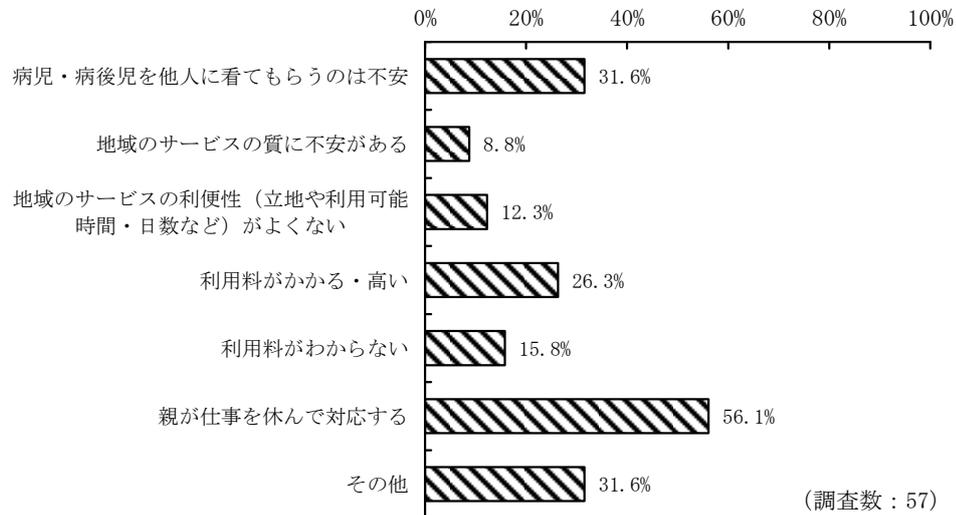
問 14-3 問 14-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われまですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子どもを病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態では、「小学校に併設した施設で子どもを保育する事業」と「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」がそれぞれ 57.1% と多くなっている。

(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 14-4】

問 14-4 問 14-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

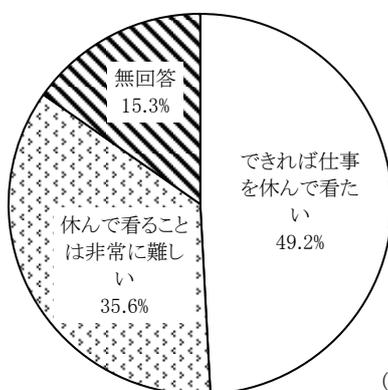


病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由では、「親が仕事を休んで対応する」が56.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(31.6%)、「利用料がかかる・高い」(26.3%)となっている。

(6) 病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか【問 14-5】

問 14-1 で「3.」から「7.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

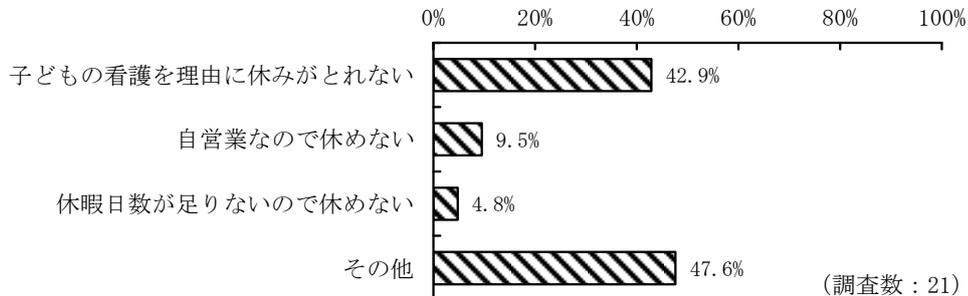
問 14-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」から「7.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。



子どもが病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかでは、「できれば仕事を休んで看たい」が49.2%、「休んで看ることは非常に難しい」が35.6%となっている。

(7) 病気やケガ時、休んで看ることは非常に難しいと思われる理由【問 14-6】

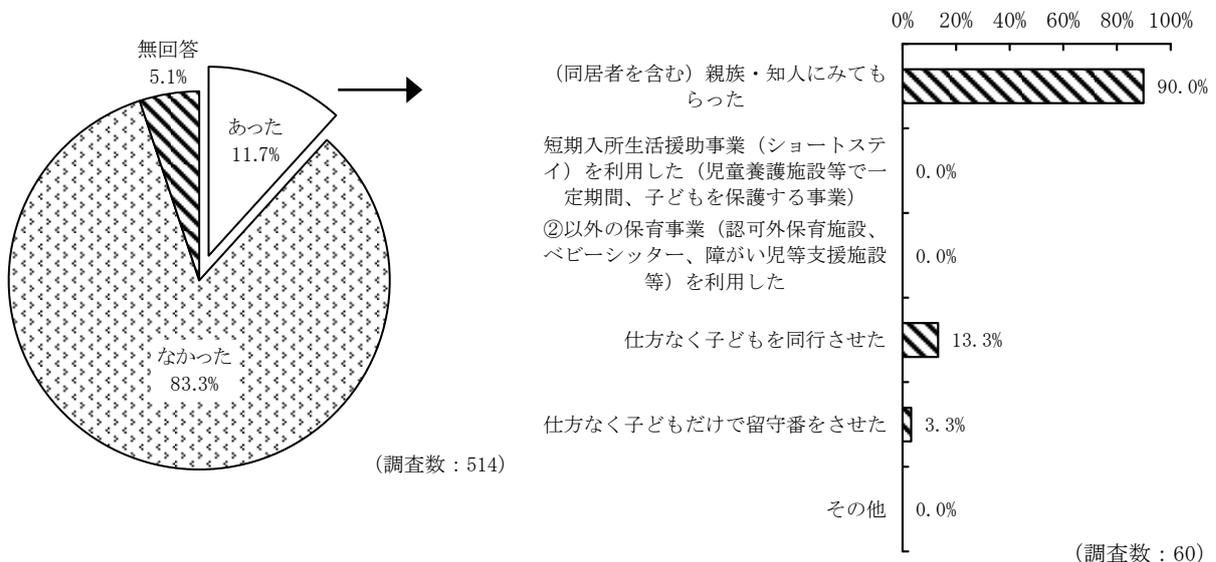
問 14-6 問 14-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子どもが病気やケガ時、休んで看ることは非常に難しいと思われる理由では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 42.9%、「自営業なので休めない」が 9.5%となっている。

(8) この1年間での、宿泊を伴う一時預かり等の対処方法【問 15】

問 15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

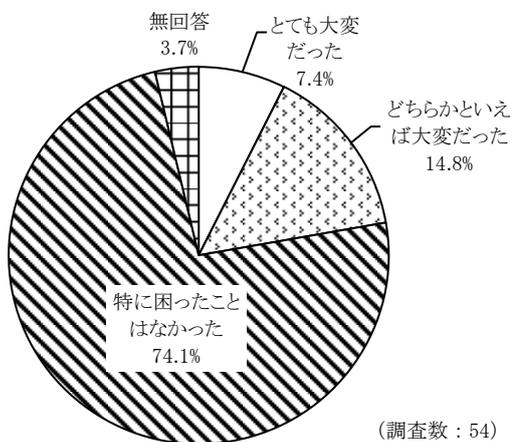


保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかでは、「あった」が 11.7%、「なかった」が 83.3%となっている。

あった場合の対処方法では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 90.0%と最も多くなっている。

(9) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった場合の困難度【問 15-1】

問 15 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。  
問 15-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

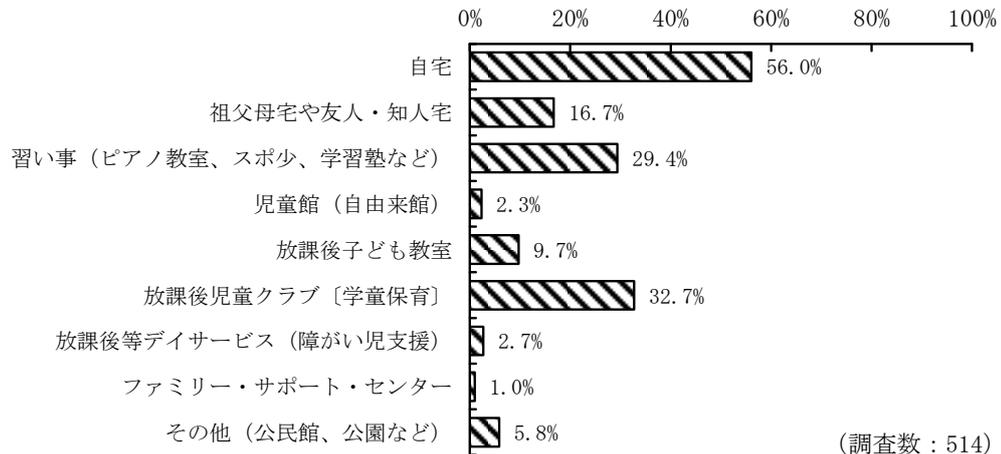


子どもを泊りがけで(同居者を含む)親族・知人にみてもらった時の困難度では、74.1%が「特に困ったことはなかった」と回答している。

## 6. 放課後の過ごし方について

### (1) 小学校低学年（1～3年生）の過ごし方【問16】

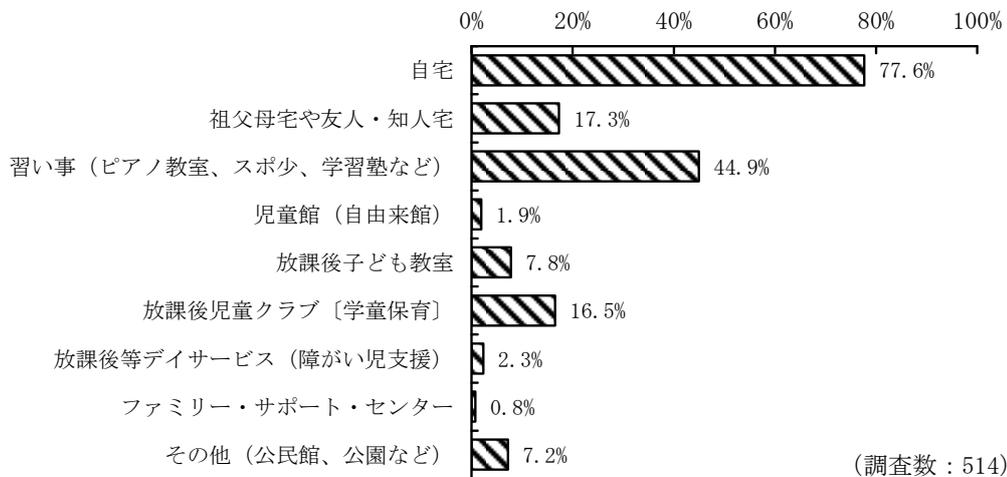
問16 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」「放課後等デイサービス」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。



小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、「自宅」が 56.0%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（32.7%）、「習い事（ピアノ教室、スポ少、学習塾など）」（29.4%）の順となっている。

### (2) 小学校高学年（4～6年生）の過ごし方【問17】

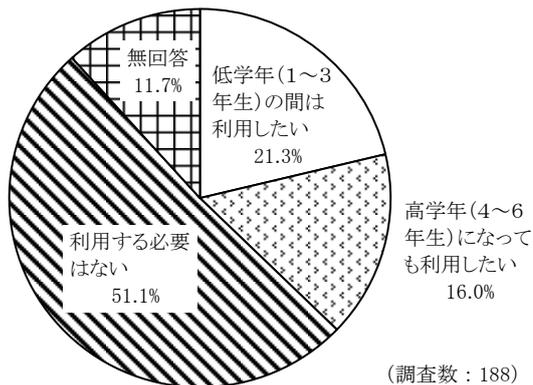
問17 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」「放課後等デイサービス」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。



小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、「自宅」が 77.6%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポ少、学習塾など）」（44.9%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（17.3%）の順となっている。

問 18 問 16 または問 17 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

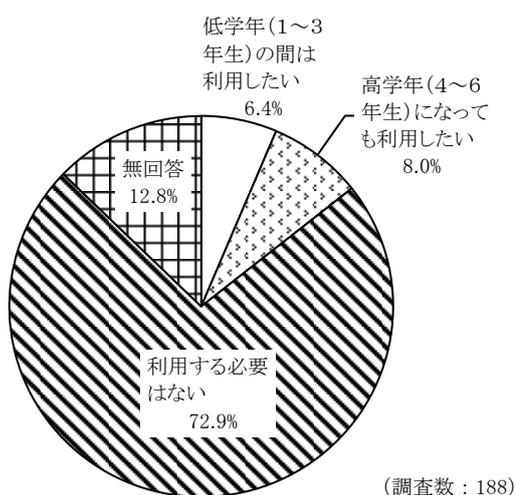
（3）土曜日の放課後児童クラブの利用希望【問 18(1)】



土曜日の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 21.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 16.0%となっている。

一方、「利用する必要はない」（51.1%）が約 5 割となっている。

（4）日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望【問 18(2)】

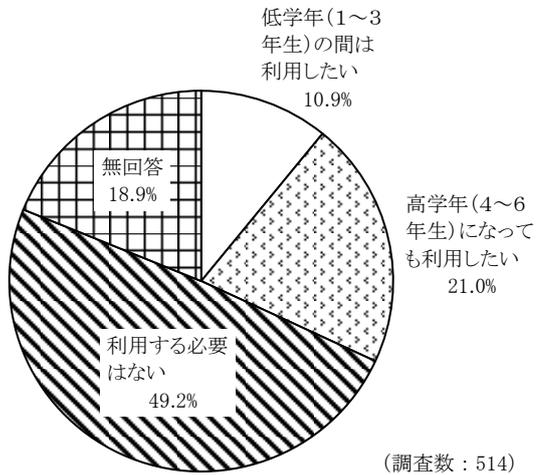


日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 6.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 8.0%となっている。

一方、「利用する必要はない」（72.9%）が約 7 割となっている。

(5) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望【問 19】

問 19 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の「放課後児童クラブ」「放課後等デイサービス」の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください。



長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 10.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（21.0%）となっている。

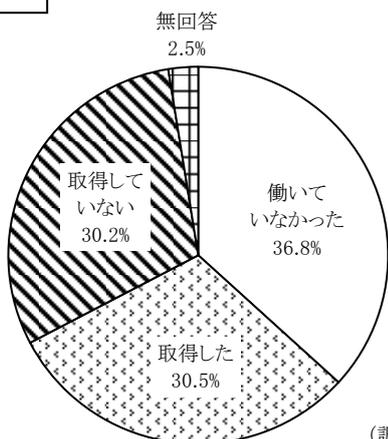
一方、「利用する必要はない」（49.2%）が約 5 割となっている。

## 7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

### (1) 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方の育児休業の取得状況【問 20】

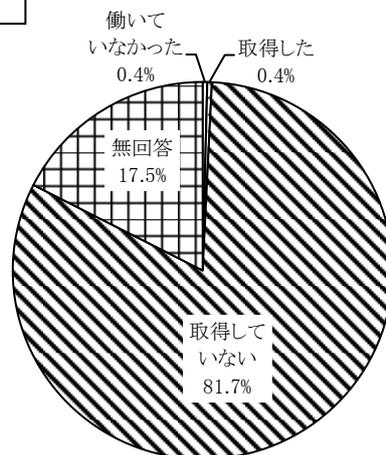
問 20 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を点線で囲んだ部分から番号を選んでご記入ください。

母親



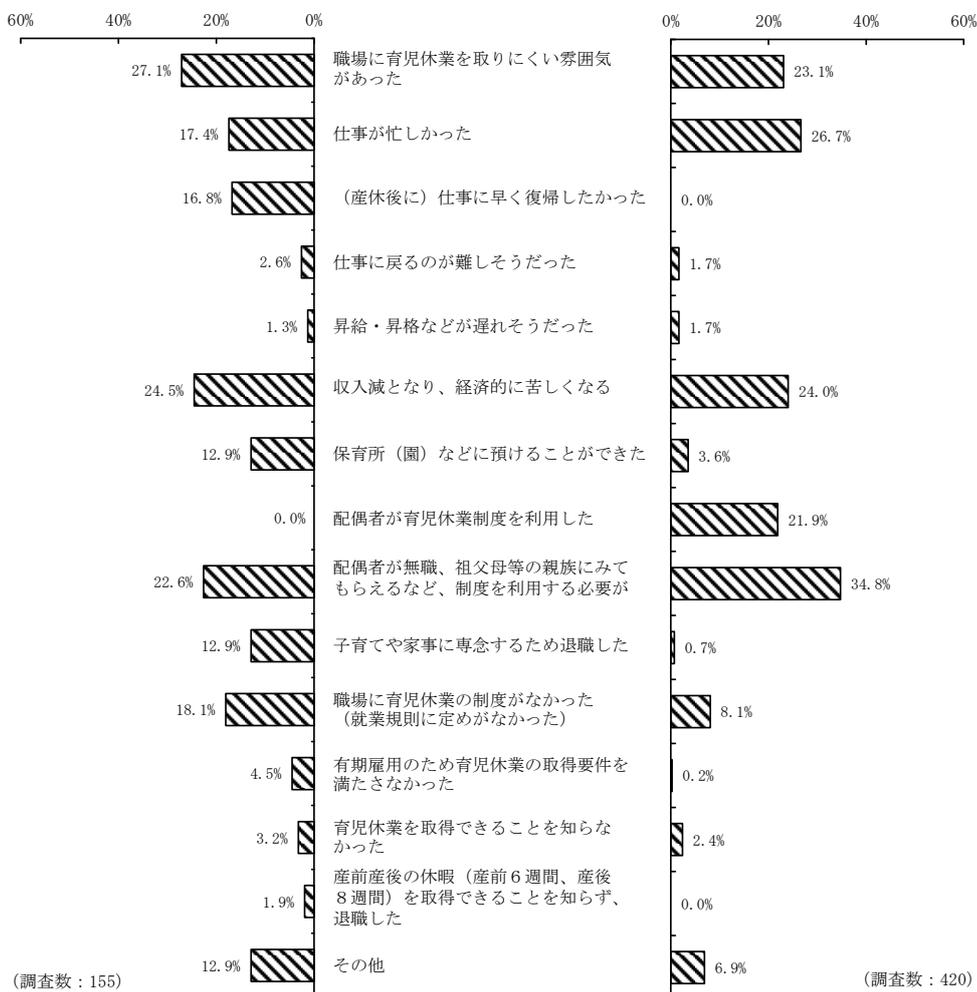
(調査数：514)

父親



(調査数：514)

### 取得していない理由



(調査数：155)

(調査数：420)

子どもが生まれた時、母親の育児休業の取得状況では、「取得した」が 30.5%、「取得していない」が 30.2%となっている。

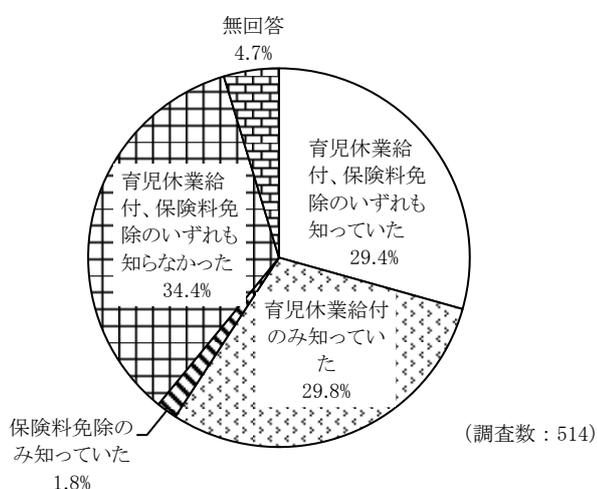
また、取得していない理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 27.1%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」(24.5%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(22.6%)の順となっている。

子どもが生まれた時、父親の育児休業の取得状況では、「取得した」が 0.4%であり、「取得していない」が 81.7%と圧倒的に多い回答となっている。

また、取得していない理由では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 34.8%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」(26.7%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(24.0%)の順となっている。

## (2) 育児休業給付、保険料免除の認識度【問 20-1】

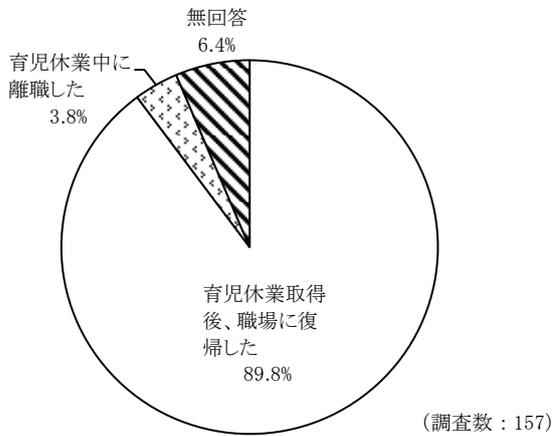
問 20-1 育児休業給付と保険料免除について、ご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



育児休業給付、保険料免除について知っていたかでは、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 34.4%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(29.8%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(29.4%)となっている。

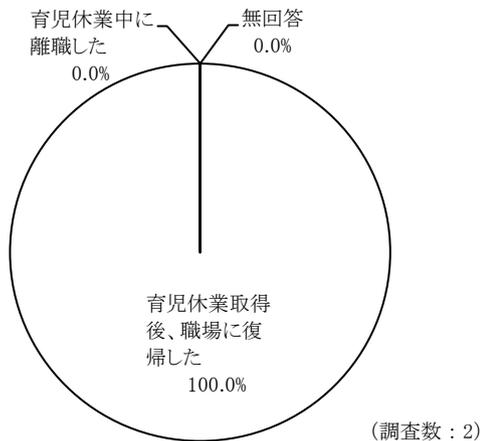
(3) 母親の育児休業取得後の職場復帰【問 20-2(1)】

問 20 で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。  
問 20-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 89.8%となっている。

(4) 父親の育児休業取得後の職場復帰【問 20-2(2)】



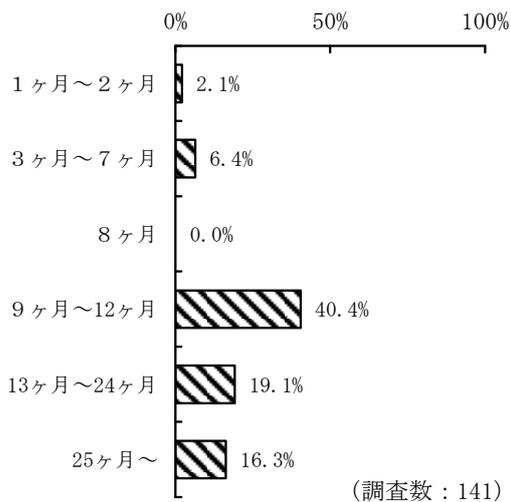
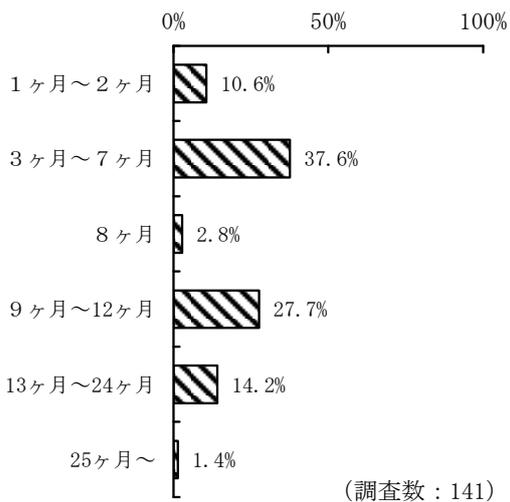
父親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 100.0%となっている。

(5) 母親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 20-3(1)】

問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
 問 20-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください。

実際の取得期間

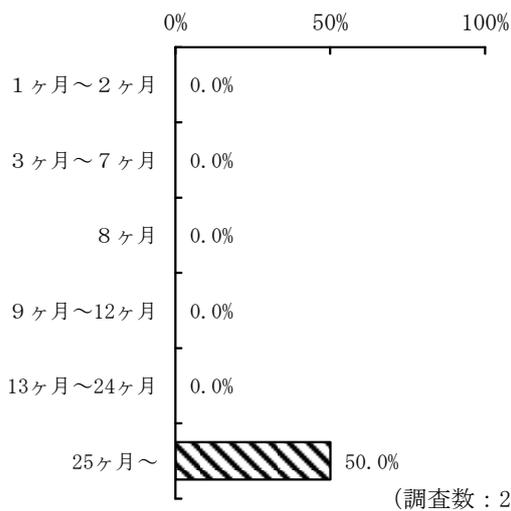
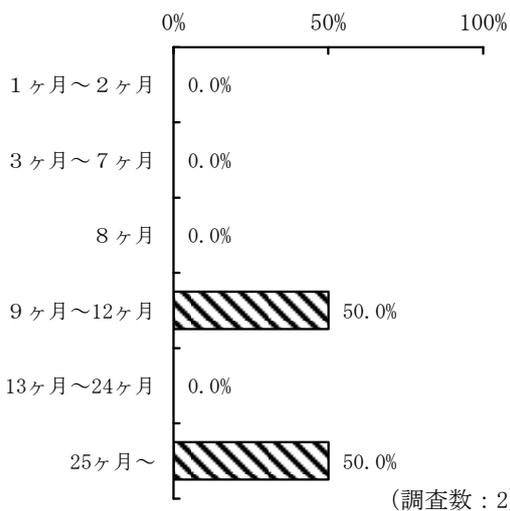
希 望



(6) 父親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 20-3(2)】

実際の取得期間

希 望



母親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「3ヶ月～7ヶ月」が37.6%と最も多く、次いで「9ヶ月～12ヶ月」(27.7%)となっている。

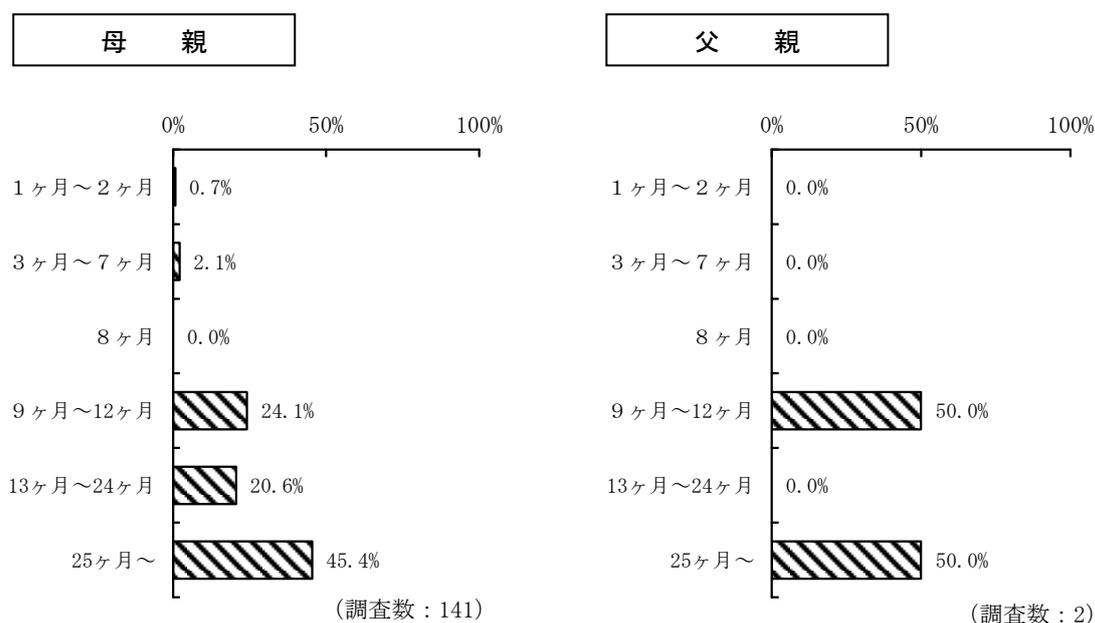
また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が40.4と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(19.1%)となっている。

父親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「9ヶ月～12ヶ月」、「25ヶ月～」が50.0%となっている。

また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「25ヶ月～」が50.0%と最も多くなっている。

(7) 3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望【問 20-4(1)(2)】

問 20-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内で数字でご記入ください。

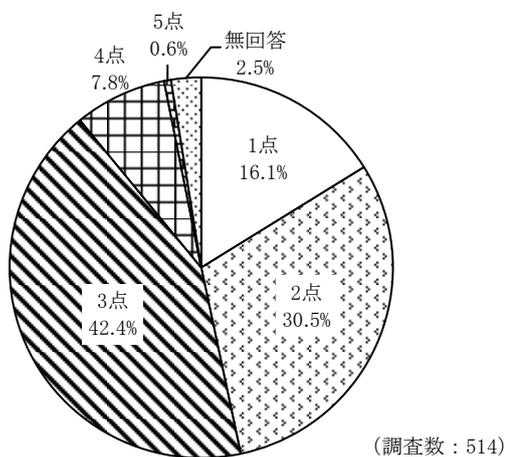


母親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「25ヶ月～」が45.4%と最も多くなっている。

## 8. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

### (1) 本市における子育ての環境や支援への満足度【問 21】

問 21 本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



新庄市における子育ての環境や支援に対する満足度では、「3点」が42.4%と最も多くなっている。

また、「4点」(7.8%)と「5点」(0.6%)を合わせた満足度が高いとみられる回答は8.4%に止まっている。

一方、「1点」(16.1%)と「2点」(30.5%)を合わせた満足度が低いとみられる回答は46.6%と約半数となっている。

(2) 教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを

取り巻く環境に関する意見【問22】

問22 最後に、教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関しての意見を求めたところ、249件寄せられ、「遊び場」、「手当て・補助金」、「学校」に関する記述が多くなっている。

大分類	小分類	件数	構成比
1. 保育サービス	①保育所	6	2.4%
	②幼稚園	1	0.4%
	③こども園	0	0.0%
	④一時保育	4	1.6%
	⑤学童保育	33	13.3%
	⑥学校	38	15.3%
	⑦その他	25	10.0%
2. 子育て支援	①子育て支援センター	11	4.4%
	②イベント	4	1.6%
	③手当て・補助金	46	18.5%
	④情報提供	26	10.4%
	⑤相談	6	2.4%
	⑥その他	18	7.2%
3. 医療	①医療費	10	4.0%
	②医療機関	23	9.2%
	③その他	13	5.2%
4. 環境	①遊び場	49	19.7%
	②治安	4	1.6%
	③交通	11	4.4%
	④その他	16	6.4%
5. その他		77	30.9%
合 計		249	

### Ⅲ ニーズ量の推計

---



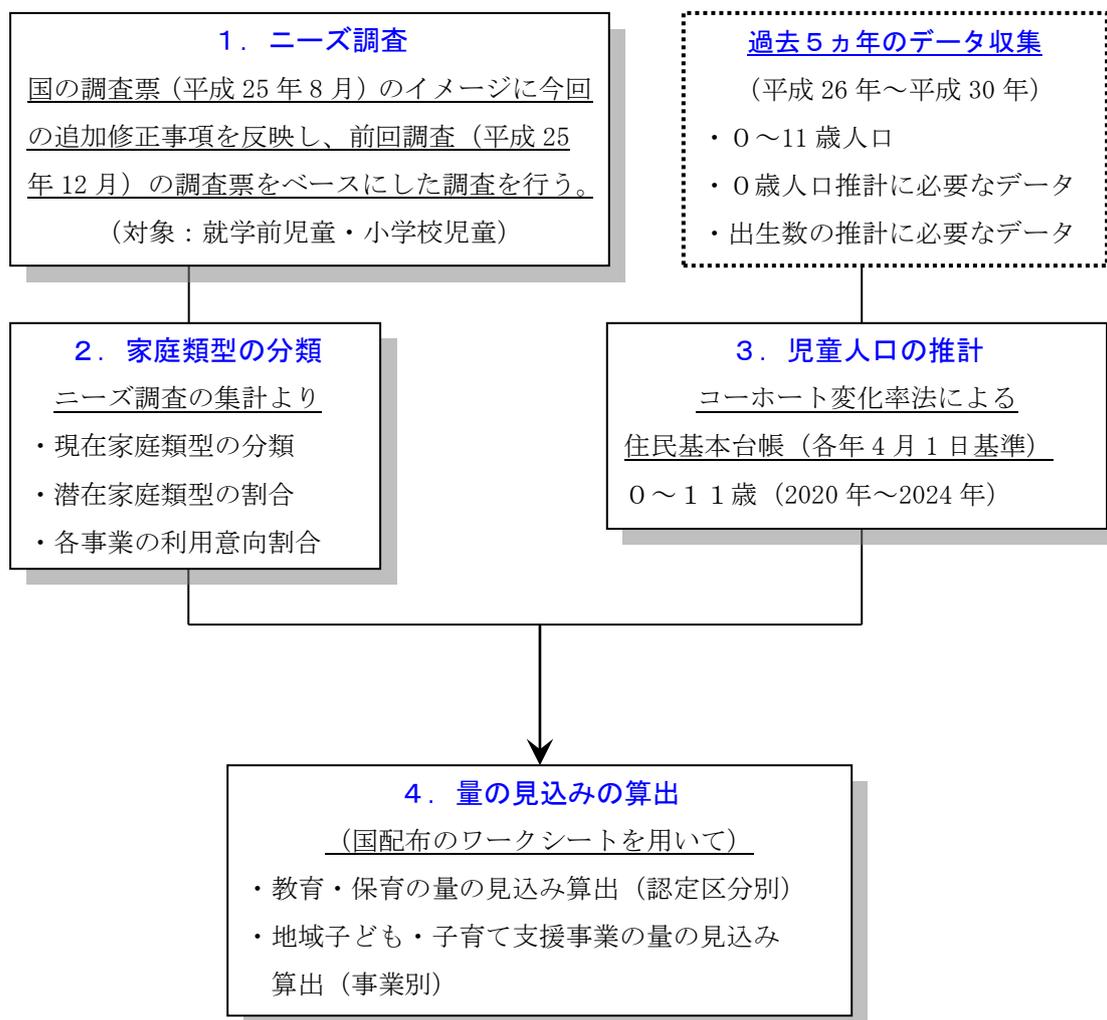
## Ⅲ－１ ニーズ量の推計

子育て家庭の教育・保育事業や子育て支援事業に対する潜在的なニーズを探るため、アンケート調査（ニーズ調査）を実施する。このニーズ調査結果から、国の『第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方（平成30年8月）』並びに『新・放課後子ども総合プラン』に基づく放課後児童健全育成事業に係る「量の見込み」の算出等の考え方について（平成30年12月）』に基づき、家庭類型（父親・母親の同居状況や就労状況から家庭の状況を分類したもの）や年齢区分別に「ニーズ量」を算出するものである。

ニーズ量の算出手順は次のとおりである。

- ①現在の家庭類型の算出
- ②潜在的な家庭類型の算出
- ③各事業の利用意向割合
- ④児童人口の推計
- ⑤教育・保育の量の見込み算出（認定区分別）
- ⑥地域子ども・子育て支援事業の量の見込み算出（事業別）

### 量の見込みの算出フロー



## 1. 家庭類型の分類

ニーズ調査の集計結果から算出した、「現在の家庭類型」及び「潜在的な家庭類型」は下表のとおりである。

### ■ 0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	32	7.9%	32	7.9%
タイプB フルタイム×フルタイム	218	54.0%	234	57.9%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	87	21.5%	85	21.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	6	1.5%	6	1.5%
タイプD 専業主婦(夫)	60	14.9%	47	11.6%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	1	0.2%	0	0.0%
全 体	404	100.0%	404	100.0%

### ■ 0歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	1	4.0%	1	4.0%
タイプB フルタイム×フルタイム	17	68.0%	17	68.0%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3	12.0%	3	12.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプD 専業主婦(夫)	4	16.0%	4	16.0%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0	0.0%
全 体	25	100.0%	25	100.0%

### ■ 1・2歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	3.8%	4	3.8%
タイプB フルタイム×フルタイム	52	49.1%	61	57.5%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	22	20.8%	22	20.8%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3	2.8%	2	1.9%
タイプD 専業主婦(夫)	24	22.6%	17	16.0%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	1	0.9%	0	0.0%
全 体	106	100.0%	106	100.0%

### ■ 3歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	27	9.9%	27	9.9%
タイプB フルタイム×フルタイム	149	54.6%	156	57.1%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	62	22.7%	60	22.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3	1.1%	4	1.5%
タイプD 専業主婦(夫)	32	11.7%	26	9.5%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0	0.0%
全 体	273	100.0%	273	100.0%

## 2. 児童人口の推計

児童人口は、平成26年度から平成30年度は減少しており、平成31年度以降も減少が見込まれ、今後もこの傾向が続くと考えられる。

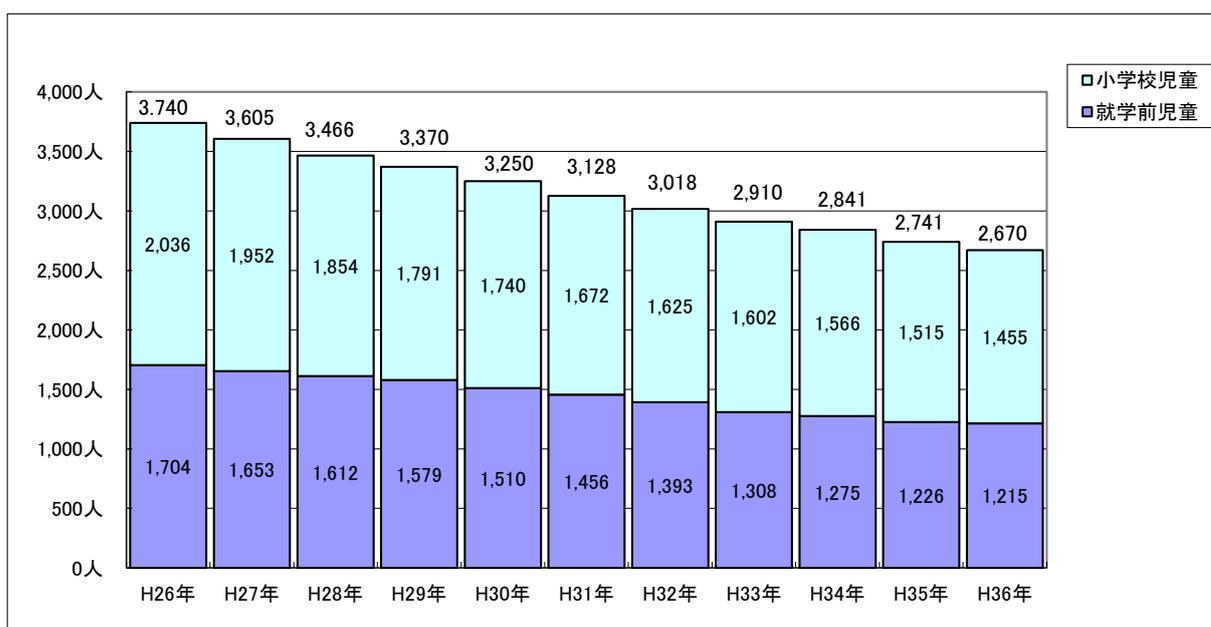
児童年齢		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	0～5歳合計
推計人口	平成31年	219人	204人	243人	232人	288人	270人	1,456人
	平成32年	212人	218人	202人	243人	232人	286人	1,393人
	平成33年	206人	211人	216人	202人	243人	230人	1,308人
	平成34年	202人	205人	209人	216人	202人	241人	1,275人
	平成35年	197人	201人	203人	209人	216人	200人	1,226人
	平成36年	192人	197人	200人	201人	209人	216人	1,215人

児童年齢		6歳児 (小1)	7歳児 (小2)	8歳児 (小3)	9歳児 (小4)	10歳児 (小5)	11歳児 (小6)	6～11歳合計
推計人口	平成31年	262人	253人	286人	259人	302人	310人	1,672人
	平成32年	265人	262人	252人	284人	260人	302人	1,625人
	平成33年	281人	265人	261人	250人	285人	260人	1,602人
	平成34年	226人	281人	264人	259人	251人	285人	1,566人
	平成35年	237人	225人	280人	262人	260人	251人	1,515人
	平成36年	198人	233人	224人	279人	260人	261人	1,455人

	0歳	1・2歳	3～5歳	0～5歳
平成31年	219人	447人	790人	1,456人
平成32年	212人	420人	761人	1,393人
平成33年	206人	427人	675人	1,308人
平成34年	202人	414人	659人	1,275人
平成35年	197人	404人	625人	1,226人
平成36年	192人	397人	626人	1,215人

	0～5歳合計 就学前児童	6～11歳合計 小学校児童	合計
H26年	1,704人	2,036人	3,740人
H27年	1,653人	1,952人	3,605人
H28年	1,612人	1,854人	3,466人
H29年	1,579人	1,791人	3,370人
H30年	1,510人	1,740人	3,250人
H31年	1,456人	1,672人	3,128人
H32年	1,393人	1,625人	3,018人
H33年	1,308人	1,602人	2,910人
H34年	1,275人	1,566人	2,841人
H35年	1,226人	1,515人	2,741人
H36年	1,215人	1,455人	2,670人

	6～8歳	9～11歳	6～11歳
平成31年	801人	871人	1,672人
平成32年	779人	846人	1,625人
平成33年	807人	795人	1,602人
平成34年	771人	795人	1,566人
平成35年	742人	773人	1,515人
平成36年	655人	800人	1,455人



資料：平成26年～平成30年は住民基本台帳（各年4月1日）

平成31年以降は、コーホート変化率法による推計

### 3. ニーズ量の推計

ニーズ量（量の見込み）は、家庭類型、各事業の利用意向割合及び児童の推計人口から、平成32年度～平成36年度までの期間について算出したものである。

なお、放課後児童健全育成事業の量の見込みについては、『新・放課後子ども総合プラン』に基づき、学年ごとに算出したものである。

算出した「教育・保育の量の見込み（認定区分別）」及び「地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの（事業別）」は、下表のとおりである。

NO.	対象事業	対象年齢	単位	ニーズ量				
				平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
1	1号認定（認定こども園及び幼稚園）	3～5歳	人	57	51	49	47	47
2	2号認定（幼稚園の学校教育の利用希望が強い）	3～5歳	人	49	44	43	41	41
	2号認定（認定こども園及び保育所）	3～5歳	人	276	245	239	227	227
3	3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳	人	106	103	101	98	96
		1・2歳	人	179	182	177	173	170
4	時間外保育事業	0～5歳	人	33	31	31	29	29
5	放課後児童健全育成事業（*）	1～3年生	人日	223	231	221	213	188
		1年生		80	82	79	77	69
		2年生		75	77	74	71	62
		3年生		68	72	68	65	57
		4～6年生	人日	139	131	131	127	131
		4年生		60	56	56	54	56
		5年生		50	47	47	46	47
6年生		29	28	28	27	28		
6	子育て短期支援事業（ショートステイ）	0～5歳	人日	175	164	160	154	153
7	地域子育て支援拠点事業	0～2歳	人回	367	367	358	349	342
8	一時預かり							
	・幼稚園における在園児を対象とした一時預かり							
	1号認定による利用	3～5歳	人日	865	767	749	710	711
	2号認定による利用	3～5歳	人日	12,335	10,941	10,681	10,130	10,147
9	病児保育事業	0～5歳	人日	2,446	2,297	2,239	2,153	2,134
		0～5歳	人日	686	644	628	604	599
10	子育て援助活動支援事業（*） （ファミリー・サポート・センター事業）	1～3年生	人日	0	0	0	0	0
		4～6年生	人日	0	0	0	0	0

NO.1～NO.3：教育・保育の量の見込み

NO.4～NO.10：地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

(\*）5歳時点の利用意向を基に算出した。



平成30年度  
新庄市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査  
結果報告書

---

平成31年3月

発行 : 新庄市  
企画・編集 : 子育て推進課